



## 2021年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 株式会社 四国銀行  
 コード番号 8387 URL <https://www.shikokubank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 山元 文明

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 門田 健

TEL 088-823-2111

四半期報告書提出予定日 2020年11月9日

配当支払開始予定日

2020年12月4日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	20,302	2.9	3,971	8.9	2,759	16.4
2020年3月期中間期	20,920	5.1	4,361	23.3	3,302	17.3

(注) 包括利益 2021年3月期中間期 11,867百万円 (125.0%) 2020年3月期中間期 5,274百万円 (57.1%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期中間期	64.93	64.81
2020年3月期中間期	77.80	77.64

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	3,258,850	149,261	4.5
2020年3月期	2,997,845	138,003	4.5

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 149,048百万円 2020年3月期 137,769百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	7.3	7,300	135.7	4,500	45.3	105.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期中間期	42,900,000 株	2020年3月期	42,900,000 株
期末自己株式数	2021年3月期中間期	369,031 株	2020年3月期	427,921 株
期中平均株式数(中間期)	2021年3月期中間期	42,491,671 株	2020年3月期中間期	42,445,996 株

(個別業績の概要)

1. 2021年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	20,486	2.6	3,983	9.2	2,877	15.5
2020年3月期中間期	21,051	6.2	4,391	26.9	3,408	22.3

1株当たり中間純利益	
	円 銭
2021年3月期中間期	67.52
2020年3月期中間期	80.07

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	3,257,080		145,001			4.4
2020年3月期	2,995,959		133,993			4.4

(参考)自己資本 2021年3月期中間期 144,924百万円 2020年3月期 133,893百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,800	7.2	7,200	167.5	4,500	55.4	105.55

中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当行としてその実現を約束するものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	4
中間連結損益計算書	4
中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
3. 中間財務諸表	8
(1) 中間貸借対照表	8
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11

《2021年3月期 第2四半期（中間期）決算説明資料》

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期の連結経営成績は、以下のとおりとなりました。

経常収益は、資金運用収益は増加しましたが、国債等債券売却益や償却債権取立益の減少等により、前年同期比6億18百万円減少し203億2百万円となりました。経常費用は国債等債券売却損や国債等債券償還損は増加しましたが、資金調達費用や株式等償却の減少等により、前年同期比2億28百万円減少し163億30百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比3億90百万円減少し39億71百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同5億43百万円減少し27億59百万円となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定につきましては、預金は、個人預金及び法人預金の増加等により、前年度末比1,424億円増加し2兆7,814億円となりました。また譲渡性預金を含めた預金等は、前年度末比1,707億円増加し2兆8,469億円となりました。貸出金は、地方公共団体向け貸出金は減少しましたが、事業性貸出金等の増加により、前年度末比624億円増加し1兆8,472億円となりました。有価証券は、投資信託や地方債の購入・引受等により、前年度末比710億円増加し8,892億円となりました。

当中間期末の連結自己資本比率(国内基準)につきましては、前年度末比0.15ポイント上昇し、9.11%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2021年3月期通期の業績予想につきましては、当中間期の業績等を踏まえ、経常収益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を下記のとおり上方修正いたします。

2021年3月期通期の連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回公表予想 (A)	37,400	5,600	3,000
今回修正予想 (B)	39,800	7,300	4,500
増減額 (B-A)	2,400	1,700	1,500

<ご参考>

2021年3月期通期の個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回公表予想 (A)	37,500	5,400	3,000
今回修正予想 (B)	39,800	7,200	4,500
増減額 (B-A)	2,300	1,800	1,500

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当中間連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	239,362	365,080
コールローン及び買入手形	832	3,157
買入金銭債権	14,560	9,007
商品有価証券	5	18
金銭の信託	1,000	2,162
有価証券	818,246	889,298
貸出金	1,784,830	1,847,299
外国為替	9,886	16,799
その他資産	96,763	96,048
有形固定資産	36,652	36,238
無形固定資産	2,496	2,253
退職給付に係る資産	114	320
繰延税金資産	1,780	18
支払承諾見返	5,303	5,474
貸倒引当金	△13,991	△14,328
<b>資産の部合計</b>	<b>2,997,845</b>	<b>3,258,850</b>
<b>負債の部</b>		
預金	2,639,035	2,781,440
譲渡性預金	37,145	65,479
コールマネー及び売渡手形	17,630	20,842
債券貸借取引受入担保金	55,751	55,543
借入金	52,649	136,503
外国為替	42	39
その他負債	46,923	36,610
退職給付に係る負債	71	73
役員退職慰労引当金	5	5
睡眠預金払戻損失引当金	873	736
ポイント引当金	59	51
繰延税金負債	40	2,513
再評価に係る繰延税金負債	4,310	4,274
支払承諾	5,303	5,474
<b>負債の部合計</b>	<b>2,859,841</b>	<b>3,109,588</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	25,000	25,000
資本剰余金	9,699	9,699
利益剰余金	87,811	89,971
自己株式	△891	△794
<b>株主資本合計</b>	<b>121,619</b>	<b>123,876</b>
その他有価証券評価差額金	14,413	22,964
繰延ヘッジ損益	△5,618	△5,182
土地再評価差額金	9,024	8,941
退職給付に係る調整累計額	△1,670	△1,551
その他の包括利益累計額合計	16,149	25,172
新株予約権	100	77
非支配株主持分	133	135
<b>純資産の部合計</b>	<b>138,003</b>	<b>149,261</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,997,845</b>	<b>3,258,850</b>

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	20,920	20,302
資金運用収益	13,885	14,004
(うち貸出金利息)	9,909	9,834
(うち有価証券利息配当金)	3,934	4,082
役務取引等収益	3,529	3,483
その他業務収益	845	357
その他経常収益	2,659	2,457
経常費用	16,558	16,330
資金調達費用	1,519	813
(うち預金利息)	276	184
役務取引等費用	1,171	1,177
その他業務費用	152	987
営業経費	12,118	12,124
その他経常費用	1,596	1,226
経常利益	4,361	3,971
特別利益	—	108
固定資産処分益	—	108
特別損失	62	17
固定資産処分損	22	14
減損損失	39	2
税金等調整前中間純利益	4,299	4,062
法人税、住民税及び事業税	854	1,056
法人税等調整額	141	244
法人税等合計	995	1,301
中間純利益	3,303	2,761
非支配株主に帰属する中間純利益	1	2
親会社株主に帰属する中間純利益	3,302	2,759

## 中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
中間純利益	3,303	2,761
その他の包括利益	1,970	9,106
その他有価証券評価差額金	2,777	8,404
繰延ヘッジ損益	△874	436
退職給付に係る調整額	16	119
持分法適用会社に対する持分相当額	51	145
中間包括利益	5,274	11,867
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	5,272	11,865
非支配株主に係る中間包括利益	1	2

## (3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,000	9,699	86,144	△952	119,892
当中間期変動額					
剰余金の配当			△638		△638
親会社株主に帰属する 中間純利益			3,302		3,302
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△26	61	35
土地再評価差額金の取崩			△16		△16
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	—	2,621	61	2,682
当中間期末残高	25,000	9,699	88,766	△890	122,574

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	25,225	△5,196	8,899	△1,009	27,918	100	130	148,041
当中間期変動額								
剰余金の配当								△638
親会社株主に帰属する 中間純利益								3,302
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								35
土地再評価差額金の取崩								△16
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	2,829	△874	16	16	1,986	—	0	1,987
当中間期変動額合計	2,829	△874	16	16	1,986	—	0	4,669
当中間期末残高	28,054	△6,071	8,915	△993	29,905	100	130	152,711



当中間連結会計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	25,000	9,699	87,811	△891	121,619
当中間期変動額					
剰余金の配当			△638		△638
親会社株主に帰属する 中間純利益			2,759		2,759
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分			△43	97	53
土地再評価差額金の取崩			83		83
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）					
当中間期変動額合計	—	—	2,159	97	2,256
当中間期末残高	25,000	9,699	89,971	△794	123,876

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	14,413	△5,618	9,024	△1,670	16,149	100	133	138,003
当中間期変動額								
剰余金の配当								△638
親会社株主に帰属する 中間純利益								2,759
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								53
土地再評価差額金の取崩								83
株主資本以外の項目の 当中間期変動額（純額）	8,550	436	△83	119	9,022	△22	1	9,001
当中間期変動額合計	8,550	436	△83	119	9,022	△22	1	11,258
当中間期末残高	22,964	△5,182	8,941	△1,551	25,172	77	135	149,261

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

3. 中間財務諸表  
 (1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	239,362	365,080
コールローン	832	3,157
買入金銭債権	14,560	9,007
商品有価証券	5	18
金銭の信託	1,000	2,162
有価証券	814,191	884,902
貸出金	1,784,366	1,846,820
外国為替	9,886	16,799
その他資産	96,755	96,042
その他の資産	96,755	96,042
有形固定資産	36,484	36,074
無形固定資産	2,492	2,249
前払年金費用	2,959	2,916
繰延税金資産	1,031	—
支払承諾見返	5,303	5,474
貸倒引当金	△13,272	△13,627
資産の部合計	2,995,959	3,257,080
<b>負債の部</b>		
預金	2,640,907	2,783,222
譲渡性預金	38,545	66,879
コールマネー	17,630	20,842
債券貸借取引受入担保金	55,751	55,543
借入金	52,649	136,503
外国為替	42	39
その他負債	45,448	35,054
未払法人税等	768	782
リース債務	676	548
資産除去債務	143	147
その他の負債	43,860	33,576
退職給付引当金	443	366
睡眠預金払戻損失引当金	873	736
ポイント引当金	59	51
繰延税金負債	—	3,089
再評価に係る繰延税金負債	4,310	4,274
支払承諾	5,303	5,474
負債の部合計	2,861,965	3,112,078

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
資本金	25,000	25,000
資本剰余金	6,563	6,563
資本準備金	6,563	6,563
利益剰余金	85,379	87,657
利益準備金	17,593	17,721
その他利益剰余金	67,785	69,936
別途積立金	60,000	60,000
繰越利益剰余金	7,785	9,936
自己株式	△500	△403
株主資本合計	116,442	118,817
その他有価証券評価差額金	14,045	22,347
繰延ヘッジ損益	△5,618	△5,182
土地再評価差額金	9,024	8,941
評価・換算差額等合計	17,451	26,106
新株予約権	100	77
純資産の部合計	133,993	145,001
負債及び純資産の部合計	2,995,959	3,257,080

## (2) 中間損益計算書

	(単位：百万円)	
	前中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	21,051	20,486
資金運用収益	14,154	14,343
(うち貸出金利息)	9,905	9,831
(うち有価証券利息配当金)	4,207	4,424
役務取引等収益	3,432	3,373
その他業務収益	845	357
その他経常収益	2,618	2,412
経常費用	16,659	16,503
資金調達費用	1,519	813
(うち預金利息)	276	184
役務取引等費用	1,485	1,474
その他業務費用	152	987
営業経費	12,051	12,073
その他経常費用	1,450	1,153
経常利益	4,391	3,983
特別利益	—	108
特別損失	62	17
税引前中間純利益	4,329	4,074
法人税、住民税及び事業税	768	961
法人税等調整額	152	235
法人税等合計	920	1,197
中間純利益	3,408	2,877

## (3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	
				別途積立金			
当期首残高	25,000	6,563	6,563	17,338	55,000	11,574	83,913
当中間期変動額							
剰余金の配当						△638	△638
中間純利益						3,408	3,408
自己株式の取得							
自己株式の処分						△26	△26
土地再評価差額金の取崩						△16	△16
利益準備金の積立				127		△127	—
別途積立金の積立					5,000	△5,000	—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	—	127	5,000	△2,400	2,727
当中間期末残高	25,000	6,563	6,563	17,465	60,000	9,174	86,640

	株主資本		評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△561	114,915	24,884	△5,196	8,899	28,587	100	143,602
当中間期変動額								
剰余金の配当		△638						△638
中間純利益		3,408						3,408
自己株式の取得	△0	△0						△0
自己株式の処分	61	35						35
土地再評価差額金の取崩		△16						△16
利益準備金の積立		—						—
別途積立金の積立		—						—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			2,750	△874	16	1,892	—	1,892
当中間期変動額合計	61	2,788	2,750	△874	16	1,892	—	4,681
当中間期末残高	△499	117,703	27,635	△6,071	8,915	30,480	100	148,284

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	25,000	6,563	6,563	17,593	60,000	7,785	85,379
当中間期変動額							
剰余金の配当						△638	△638
中間純利益						2,877	2,877
自己株式の取得							
自己株式の処分						△43	△43
土地再評価差額金の取崩						83	83
利益準備金の積立				127		△127	—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	—	127	—	2,150	2,278
当中間期末残高	25,000	6,563	6,563	17,721	60,000	9,936	87,657

	株主資本		評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	△500	116,442	14,045	△5,618	9,024	17,451	100	133,993
当中間期変動額								
剰余金の配当		△638						△638
中間純利益		2,877						2,877
自己株式の取得	△0	△0						△0
自己株式の処分	97	53						53
土地再評価差額金の取崩		83						83
利益準備金の積立		—						—
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)			8,302	436	△83	8,655	△22	8,632
当中間期変動額合計	97	2,375	8,302	436	△83	8,655	△22	11,007
当中間期末残高	△403	118,817	22,347	△5,182	8,941	26,106	77	145,001

2021年3月期第2四半期  
(中間期) 決算説明資料

株式会社 四 国 銀 行

《2021年3月期第2四半期（中間期）決算説明資料》

		頁
1. 2021年3月期第2四半期（中間期）決算の概況	.....	2
(1) 損益状況	単 .....	2
	連 .....	3
(2) 業務純益	単 .....	4
(3) 利鞘	単 .....	4
(4) 有価証券関係損益	単 .....	4
(5) 有価証券の評価損益	単・連 .....	5
① 有価証券の評価基準	単・連 .....	5
② 評価損益	単・連 .....	5
(6) 自己資本比率（国内基準）	単・連 .....	6
(7) ROE	単 .....	6
2. 貸出金等の状況	.....	7
(1) リスク管理債権の状況	単・連 .....	7
(2) リスク管理債権の保全状況	単 .....	7
(3) 貸倒引当金の状況	単・連 .....	8
(4) 金融再生法開示債権	単 .....	8
(5) 金融再生法開示不良債権の保全状況	単 .....	8
《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況		
	単 .....	9
(6) 業種別貸出状況等	単 .....	10
① 業種別貸出金	単 .....	10
② 業種別リスク管理債権	単 .....	10
③ 個人ローン残高	単 .....	11
④ 中小企業等貸出金	単 .....	11
3. 預金等・貸出金・預り資産残高	.....	11
(1) 預金等・貸出金の残高	単 .....	11
(2) 個人・法人等別預金残高	単 .....	11
(3) 預り資産残高	単 .....	12
① 総額	単 .....	12
② 個人	単 .....	12
4. 通期業績予想	単・連 .....	12

《補足資料》

2020年度中間決算の概要



## 1. 2021年3月期第2四半期(中間期)決算の概況

## (1) 損益状況

## 【単体】

(単位:百万円)

		2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比		
業 務 粗 利 益	1	14,798	△ 476	15,274
(コア業務粗利益) (注) 1	2	15,445	848	14,597
資 金 利 益	3	13,530	895	12,635
役 務 取 引 等 利 益	4	1,899	△ 47	1,946
そ の 他 業 務 利 益	5	△ 630	△ 1,322	692
う ち 債 券 関 係 損 益	6	△ 646	△ 1,323	677
経 費 (除く臨時処理分) (△)	7	11,902	△ 126	12,028
人 件 費 (△)	8	5,667	△ 5	5,672
物 件 費 (△)	9	5,481	△ 136	5,617
税 金 (△)	10	753	15	738
実 質 業 務 純 益 (注) 2	11	2,896	△ 350	3,246
(コア業務純益) (注) 3	12	3,543	974	2,569
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	13	3,532	1,039	2,493
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	14	167	△ 380	547
業 務 純 益	15	2,728	29	2,699
臨 時 損 益	16	1,254	△ 438	1,692
不 良 債 権 処 理 額 (△)	17	434	347	87
貸 出 金 償 却 (△)	18	13	△ 83	96
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	19	356	388	△ 32
そ の 他 (△)	20	64	41	23
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	21	—	—	—
償 却 債 権 取 立 益	22	668	△ 264	932
株 式 等 関 係 損 益	23	712	206	506
そ の 他 臨 時 損 益	24	307	△ 34	341
経 常 利 益	25	3,983	△ 408	4,391
特 別 損 益	26	91	153	△ 62
固 定 資 産 処 分 損 益	27	94	116	△ 22
固 定 資 産 処 分 益	28	108	108	—
固 定 資 産 処 分 損 (△)	29	14	△ 8	22
減 損 損 失 (△)	30	2	△ 37	39
税 引 前 中 間 純 利 益	31	4,074	△ 255	4,329
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 (△)	32	961	193	768
法 人 税 等 調 整 額 (△)	33	235	83	152
法 人 税 等 合 計 (△)	34	1,197	277	920
中 間 純 利 益	35	2,877	△ 531	3,408
与 信 関 係 費 用 (注) 4	36	601	△ 34	635
実 質 与 信 関 係 費 用 (注) 5	37	△ 66	231	△ 297

(注) 1 (2)コア業務粗利益=(1)業務粗利益-(6)債券関係損益

(注) 2 (11)実質業務純益=(1)業務粗利益-(7)経費(除く臨時処理分)

(注) 3 (12)コア業務純益=(11)実質業務純益-(6)債券関係損益

(注) 4 (36)与信関係費用=(14)一般貸倒引当金繰入額+(17)不良債権処理額-(21)貸倒引当金戻入益

(注) 5 (37)実質与信関係費用=(36)与信関係費用-(22)償却債権取立益

## 【連結】

＜連結損益計算書ベース＞

(単位：百万円)

		2020年中間期		2019年中間期
			2019年中間期比	
連結粗利益(注)1	1	14,865	△ 551	15,416
資金利益	2	13,190	824	12,366
役員取引等利益	3	2,305	△ 52	2,357
その他業務利益	4	△ 630	△ 1,322	692
営業経費(△)	5	12,124	6	12,118
与信関係費用(△)	6	674	△ 107	781
貸出金償却(△)	7	21	△ 78	99
個別貸倒引当金繰入額(△)	8	430	327	103
一般貸倒引当金繰入額(△)	9	158	△ 396	554
その他の不良債権処理額(△)	10	64	41	23
貸倒引当金戻入益	11	—	—	—
償却債権取立益	12	668	△ 264	932
株式等関係損益	13	712	206	506
持分法による投資利益	14	40	4	36
その他	15	483	114	369
経常利益	16	3,971	△ 390	4,361
特別損益	17	91	153	△ 62
税金等調整前中間純利益	18	4,062	△ 237	4,299
法人税、住民税及び事業税(△)	19	1,056	202	854
法人税等調整額(△)	20	244	103	141
法人税等合計(△)	21	1,301	306	995
中間純利益	22	2,761	△ 542	3,303
非支配株主に帰属する中間純利益(△)	23	2	1	1
親会社株主に帰属する中間純利益	24	2,759	△ 543	3,302
実質与信関係費用(注)2	25	5	156	△ 151

(注)1 (1)連結粗利益＝(資金運用収益－資金調達費用)＋(役員取引等収益－役員取引等費用)  
 ＋(その他業務収益－その他業務費用)

(注)2 (25)実質与信関係費用＝(6)与信関係費用－(12)償却債権取立益

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	4	—	4
持分法適用会社数	1	—	1

## (2) 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
実質業務純益	2,896	△ 350	3,246
職員一人当たり(千円)	2,121	△ 221	2,342
業務純益	2,728	29	2,699
職員一人当たり(千円)	1,999	52	1,947

## (3) 利鞘【単体】

&lt;全店&gt;

(単位：%)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
資金運用利回(A)	0.98	△ 0.02	1.00
貸出金利回	1.07	△ 0.05	1.12
有価証券利回	1.05	△ 0.03	1.08
資金調達原価(B)	0.84	△ 0.09	0.93
預金等利回	0.01	△ 0.01	0.02
外部負債利回	0.32	△ 0.37	0.69
総資金利鞘(A) - (B)	0.14	0.07	0.07

&lt;国内&gt;

(単位：%)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
資金運用利回(A)	0.90	0.03	0.87
貸出金利回	1.06	△ 0.02	1.08
有価証券利回	0.92	0.04	0.88
資金調達原価(B)	0.84	△ 0.05	0.89
預金等利回	0.01	0.00	0.01
外部負債利回	0.06	0.01	0.05
総資金利鞘(A) - (B)	0.06	0.08	△ 0.02

## (4) 有価証券関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2020年中間期		2019年中間期
		2019年中間期比	
債券関係損益	△ 646	△ 1,323	677
売却益	337	△ 483	820
償還益	0	0	-
売却損	355	297	58
償還損	586	548	38
償却	41	△ 5	46
株式等関係損益	712	206	506
売却益	1,206	△ 2	1,208
売却損	492	408	84
償却	2	△ 615	617

## (5) 有価証券の評価損益

## ① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法（評価差額を損益処理）
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法（評価差額を全部純資産直入）
子会社株式及び関連会社株式	原価法

## ② 評価損益

(単位：百万円)

【単体】	2020年9月末					2020年3月末			2019年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		2020年3月末比	2019年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	32,177	11,958	△ 7,525	36,286	4,108	20,219	28,259	8,040	39,702	43,876	4,173
株式	14,215	4,329	865	16,091	1,875	9,886	12,611	2,724	13,350	16,941	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382
合計	32,177	11,958	△ 7,525	36,286	4,108	20,219	28,259	8,040	39,702	43,876	4,173
株式	14,215	4,329	865	16,091	1,875	9,886	12,611	2,724	13,350	16,941	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2020年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、22,347百万円であります。

(単位：百万円)

【連結】	2020年9月末					2020年3月末			2019年9月末		
	評価損益					評価損益			評価損益		
		2020年3月末比	2019年9月末比	評価益	評価損		評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	33,055	12,114	△ 7,370	37,164	4,108	20,941	28,987	8,045	40,425	44,598	4,173
株式	15,093	4,484	1,020	16,969	1,875	10,609	13,338	2,729	14,073	17,663	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382
合計	33,055	12,114	△ 7,370	37,164	4,108	20,941	28,987	8,045	40,425	44,598	4,173
株式	15,093	4,484	1,020	16,969	1,875	10,609	13,338	2,729	14,073	17,663	3,590
債券	7,489	370	△ 5,439	9,064	1,574	7,119	8,895	1,776	12,928	13,129	200
その他	10,471	7,258	△ 2,951	11,131	659	3,213	6,753	3,539	13,422	13,805	382

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、(中間)連結貸借対照表計上額と取得原価との差額を計上しております。

2. 2020年9月末における「その他有価証券」に係る評価差額金は、22,964百万円であります。

## (6) 自己資本比率 (国内基準)

## 【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
① 自己資本比率 (②/③)	8.78%	0.15%	△ 0.47%	8.63%	9.25%
② 自己資本の額	126,194	2,195	△ 5,585	123,999	131,779
③ リスク・アセットの額	1,436,195	△ 578	12,968	1,436,773	1,423,227
④ 総所要自己資本額	57,447	△ 23	518	57,470	56,929

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

## 【連結】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
① 自己資本比率 (②/③)	9.11%	0.15%	△ 0.47%	8.96%	9.58%
② 自己資本の額	131,710	2,014	△ 5,540	129,696	137,250
③ リスク・アセットの額	1,445,487	△ 641	13,157	1,446,128	1,432,330
④ 総所要自己資本額	57,819	△ 26	526	57,845	57,293

(注) 総所要自己資本額は、リスク・アセットの額に4%を乗じた額であります。

## (7) ROE 【単体】

(単位：%)

	2020年中間期			2019年度	2019年中間期
		2019年度比	2019年中間期比		
実質業務純益ベース	4.14	△ 1.45	△ 0.29	5.59	4.43
業務純益ベース	3.90	△ 1.58	0.21	5.48	3.69
中間(当期)純利益ベース	4.11	2.03	△ 0.55	2.08	4.66

(注) 1. (実質)業務純益ベース

$$\frac{\text{(実質)業務純益}}{\text{(期首自己資本 + 中間期末(期末)自己資本)} \div 2} \times \left[ \frac{365}{183} \right] \times 100$$

(中間期のみ)

2. 中間(当期)純利益ベース

$$\frac{\text{中間(当期)純利益}}{\text{(期首自己資本 + 中間期末(期末)自己資本)} \div 2} \times \left[ \frac{365}{183} \right] \times 100$$

(中間期のみ)

※ 自己資本=純資産の部合計-新株予約権

## 2. 貸出金等の状況

## (1) リスク管理債権の状況

(部分直接償却実施後)

【単体】

(単位：百万円)

		2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
			2020年3月末比			2019年9月末比
リスク管理債権	破綻先債権	197	△ 86	△ 88	283	285
	延滞債権	36,481	△ 49	2,117	36,530	34,364
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	3,575	619	188	2,956	3,387
	合計	40,254	484	2,217	39,770	38,037

貸出金残高(末残)	1,846,820	62,454	92,572	1,784,366	1,754,248
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01
	延滞債権	1.97	△ 0.07	0.02	2.04	1.95
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.19	0.03	0.00	0.16	0.19
	合計	2.17	△ 0.05	0.01	2.22	2.16

【連結】

(単位：百万円)

		2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
			2020年3月末比			2019年9月末比
リスク管理債権	破綻先債権	454	△ 94	△ 162	548	616
	延滞債権	36,704	△ 25	2,111	36,729	34,593
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	3,575	619	188	2,956	3,387
	合計	40,733	499	2,136	40,234	38,597

貸出金残高(末残)	1,847,299	62,469	92,491	1,784,830	1,754,808
-----------	-----------	--------	--------	-----------	-----------

(単位：%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.02	△ 0.01	△ 0.01	0.03	0.03
	延滞債権	1.98	△ 0.07	0.01	2.05	1.97
	3カ月以上延滞債権	—	—	—	—	—
	貸出条件緩和債権	0.19	0.03	0.00	0.16	0.19
	合計	2.20	△ 0.05	0.01	2.25	2.19

## (2) リスク管理債権の保全状況【単体】

(単位：百万円、%)

	2020年9月末	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
リスク管理債権額	40,254	484	2,217	39,770	38,037
貸倒引当金	8,300	261	583	8,039	7,717
担保保証等	25,411	△ 541	909	25,952	24,502
貸倒引当金引当率	20.61	0.40	0.33	20.21	20.28
保全率	83.74	△ 1.72	△ 0.96	85.46	84.70

## (3) 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
貸倒引当金	13,627	355	△ 4,712	13,272	18,339
一般貸倒引当金	5,661	167	△ 5,239	5,494	10,900
個別貸倒引当金	7,965	187	526	7,778	7,439

【連結】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
貸倒引当金	14,328	337	△ 4,817	13,991	19,145
一般貸倒引当金	5,813	158	△ 5,257	5,655	11,070
個別貸倒引当金	8,515	180	440	8,335	8,075

## (4) 金融再生法開示債権【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
金融再生法開示債権					
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,234	△ 2,886	△ 1,406	7,120	5,640
危険債権	32,603	2,733	3,414	29,870	29,189
要管理債権	3,575	619	188	2,956	3,387
小計 (A)	40,413	465	2,196	39,948	38,217
正常債権	1,843,390	64,604	93,855	1,778,786	1,749,535
合計	1,883,803	65,069	96,051	1,818,734	1,787,752

(単位：%)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
構成比					
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.22	△ 0.17	△ 0.09	0.39	0.31
危険債権	1.73	0.09	0.10	1.64	1.63
要管理債権	0.18	0.02	0.00	0.16	0.18
小計	2.14	△ 0.05	0.01	2.19	2.13
正常債権	97.85	0.05	△ 0.01	97.80	97.86

## (5) 金融再生法開示不良債権の保全状況【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
保全額 (B)	33,864	△ 308	1,465	34,172	32,399
貸倒引当金	8,357	222	547	8,135	7,810
担保保証等	25,506	△ 531	917	26,037	24,589

(単位：%)

保全率 (B) / (A)	83.79	△ 1.75	△ 0.98	85.54	84.77
---------------	-------	--------	--------	-------	-------

## 《参考》自己査定・金融再生法開示債権・リスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

自己査定		金融再生法開示債権			リスク管理債権		
債務者区分 与信残高		区分 与信残高(総与信比率) (A)	担保・保証等 引当金 保全額合計(B)	保全率 (B)/(A)	区分 貸出金残高(貸出金比率)		
破綻先債権 202		破産更生債権及び これらに準ずる債権 4,234(0.22%)	2,561	100.00%	破綻先債権 197(0.01%)		
実質破綻先債権 4,032			1,673				
			4,234				
破綻懸念先債権 32,603		危険債権 32,603(1.73%)	21,947	86.48%	延滞債権 36,481(1.97%)		
			6,249				
			28,197				
要注意先 債権 147,916	要管理先 債権 4,509	要管理債権 3,575(0.18%)	998	40.05%	3カ月以上延滞債権 -( )		
			434				
			1,432			貸出条件緩和債権 3,575(0.19%)	
	その他 要注意先 債権 143,406	[小計] 40,413(2.14%)	25,506	83.79%	[合計] 40,254(2.17%)		
			8,357				
			33,864				
正常先債権 1,699,049		正常債権 1,843,390					
総与信残高 1,883,803		総与信残高 1,883,803			貸出金残高 1,846,820		

(注) 総与信残高には、自行保証付私募債(時価)を含めて記載しております。



## (6) 業種別貸出状況等【単体】

## ① 業種別貸出金

(単位：百万円)

業種別	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
	2020年3月末比	2019年9月末比			
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	1,846,820	62,454	92,572	1,784,366	1,754,248
製造業	191,185	1,029	△ 283	190,156	191,468
農業、林業	2,147	176	△ 12	1,971	2,159
漁業	2,544	199	602	2,345	1,942
鉱業、採石業、砂利採取業	3,453	3	405	3,450	3,048
建設業	56,067	9,833	10,992	46,234	45,075
電気・ガス・熱供給・水道業	51,143	813	1,395	50,330	49,748
情報通信業	13,195	544	969	12,651	12,226
運輸業、郵便業	45,802	2,163	5,373	43,639	40,429
卸売業	91,919	3,174	2,274	88,745	89,645
小売業	107,588	10,928	11,528	96,660	96,060
金融業、保険業	31,585	△ 1,759	△ 1,277	33,344	32,862
不動産業	264,982	12,379	24,043	252,603	240,939
物品賃貸業	39,504	△ 3,067	△ 4,221	42,571	43,725
学術研究、専門・技術サービス業	8,152	1,204	1,806	6,948	6,346
宿泊業	9,703	1,425	1,676	8,278	8,027
飲食業	15,118	4,740	5,451	10,378	9,667
生活関連サービス業、娯楽業	14,113	△ 357	△ 13,968	14,470	28,081
教育、学習支援業	12,484	4,664	△ 11,267	7,820	23,751
医療・福祉	110,429	6,271	6,525	104,158	103,904
その他のサービス	31,970	996	4,164	30,974	27,806
地方公共団体	297,937	△ 3,479	24,905	301,416	273,032
その他	445,791	10,578	21,494	435,213	424,297

## ② 業種別リスク管理債権

(単位：百万円)

業種別	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末	
	2020年3月末比	2019年9月末比			
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	40,254	484	2,217	39,770	38,037
製造業	7,092	155	△ 108	6,937	7,200
農業、林業	129	17	△ 9	112	138
漁業	211	△ 29	△ 23	240	234
鉱業、採石業、砂利採取業	1,363	△ 14	△ 7	1,377	1,370
建設業	2,836	△ 1	203	2,837	2,633
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0	0	4	4
情報通信業	426	143	279	283	147
運輸業、郵便業	419	50	125	369	294
卸売業	4,100	518	348	3,582	3,752
小売業	6,174	155	△ 307	6,019	6,481
金融業、保険業	38	△ 8	△ 3	46	41
不動産業	4,376	405	457	3,971	3,919
物品賃貸業	270	30	99	240	171
学術研究、専門・技術サービス業	164	3	13	161	151
宿泊業	1,527	88	487	1,439	1,040
飲食業	1,541	421	520	1,120	1,021
生活関連サービス業、娯楽業	2,127	△ 1,964	△ 62	4,091	2,189
教育、学習支援業	607	38	463	569	144
医療・福祉	3,177	747	469	2,430	2,708
その他のサービス	1,075	△ 154	△ 772	1,229	1,847
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	2,587	△ 116	42	2,703	2,545

## ③ 個人ローン残高

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
住 宅 ロ ー ン	320,285	4,789	11,555	315,496	308,730
そ の 他 ロ ー ン	28,029	△ 2,072	△ 3,151	30,101	31,180
合 計	348,314	2,716	8,403	345,598	339,911

## ④ 中小企業等貸出金

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
中 小 企 業 等 貸 出 金	1,285,060	71,485	96,303	1,213,575	1,188,757
うち中小企業向け貸出金	931,475	69,655	88,828	861,820	842,647

## 3. 預金等・貸出金・預り資産残高

## (1) 預金等・貸出金の残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
預 金 等 ( 末 残 )	2,850,102	170,650	210,873	2,679,452	2,639,229
( 平 残 )	2,827,464	159,791	143,171	2,667,673	2,684,293
貸 出 金 ( 末 残 )	1,846,820	62,454	92,572	1,784,366	1,754,248
( 平 残 )	1,835,172	71,879	75,386	1,763,293	1,759,786

(注) 預金等＝預金＋譲渡性預金

## (2) 個人・法人等別預金残高【単体】

(単位：百万円)

	2020年9月末			2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比	2019年9月末比		
個 人 ( 末 残 )	1,836,443	64,919	83,689	1,771,524	1,752,754
法 人 等 ( 末 残 )	946,779	77,397	96,202	869,382	850,577
合 計	2,783,222	142,315	179,891	2,640,907	2,603,331

(注) 譲渡性預金及び特別国際金融取引勘定分は、含んでおりません。

## (3) 預り資産残高 【単体】

## ① 総額

(単位：百万円)

	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比		
預り資産残高	251,286	1,305	△ 9,126	249,981
公 共 債	16,367	△ 184	△ 1,278	16,551
投 資 信 託	48,589	4,169	△ 3,322	44,420
個人年金保険等	186,329	△ 2,680	△ 4,526	189,009

## ② 個人

(単位：百万円)

	2020年9月末		2020年3月末	2019年9月末
		2020年3月末比		
個人預り資産残高	244,313	1,439	△ 8,504	242,874
公 共 債	11,406	85	△ 714	11,321
投 資 信 託	46,577	4,033	△ 3,264	42,544
個人年金保険等	186,329	△ 2,680	△ 4,526	189,009

## 4. 通期業績予想

## 【単体】

(単位：百万円、%)

	2020年度 予想	2019年度比		2019年度 実績
			増減率	
経常収益	39,800	△ 3,102	△ 7.23	42,902
経常利益	7,200	4,509	167.55	2,691
当期純利益	4,500	1,605	55.44	2,895

## 【連結】

(単位：百万円、%)

	2020年度 予想	2019年度比		2019年度 実績
			増減率	
経常収益	39,800	△ 3,170	△ 7.37	42,970
経常利益	7,300	4,203	135.71	3,097
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,500	1,404	45.34	3,096

株式会社四国銀行

# 2020年度中間決算の概要

## 目次

当行単体の数値について概要を説明したものです。  
 数値については、億円未満を切り捨てて（一部百万円未満を切り捨て）表示しております。  
 説明文の増減につきましては、億円未満を切り捨てて記載しております。

1.	2020年度中間期損益の概況	3
2.	資金利益（貸出金利息と平均残高・利回り）	4
3.	資金利益（有価証券利息配当金と平均残高・利回り）	5
4.	役務取引等利益	
	（1）内訳	6
	（2）個人コンサルティング収益、法人コンサルティング収益	7
5.	経費及び経営効率	8
6.	与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益	9
7.	総預金及び個人預り資産残高	10
8.	貸出金残高及び個人ローン残高	11
9.	有価証券残高・評価損益	12
10.	自己資本比率	13
11.	不良債権の状況	14
12.	2020年度業績予想	15
13.	中期経営計画の進捗状況（4月～9月）	
	戦略目標Ⅰ 四銀スタイルの確立	16
	戦略目標Ⅱ BPR・ICT戦略の加速	17
	戦略目標Ⅲ 3つのコンサルティング機能の発揮	18
	戦略目標Ⅳ 持続可能な財務基盤・経営基盤の確立	19
	SDGsの取組み	20

# 1. 2020年度中間期損益の概況

資金利益は増加し経費は減少しましたが、その他業務利益が減少したため、実質業務純益は前年同期比3億円減少の28億円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金繰入額の減少により、前年同期並みの27億円となりました。臨時損益は、株式等関係損益が増加しましたが、不良債権処理額の増加や償却債権取立益の減少等により、前年同期比4億円減少の12億円となりました。これらの結果、経常利益は、前年同期比4億円減少の39億円、中間純利益は、法人税等の増加もあり同5億円減少の28億円となりました。

(百万円)

	2019年度中間期	2020年度中間期	前年同期比
経常収益	21,051	20,486	△ 565
業務粗利益	15,274	14,798	△ 476
コア業務粗利益	14,597	15,445	848
資金利益	12,635	13,530	895
役務取引等利益	1,946	1,899	△ 47
その他業務利益	692	△ 630	△ 1,322
国債等債券関係損益	677	△ 646	△ 1,323
経費	△ 12,028	△ 11,902	△ 126
人件費	△ 5,672	△ 5,667	△ 5
物件費	△ 5,617	△ 5,481	△ 136
税金	△ 738	△ 753	15
実質業務純益	3,246	2,896	△ 350
コア業務純益	2,569	3,543	974
コア業務純益（投資信託解約損益除く）	2,493	3,532	1,039
一般貸倒引当金繰入額	△ 547	△ 167	△ 380
業務純益	2,699	2,728	29
臨時損益	1,692	1,254	△ 438
不良債権処理額	△ 87	434	347
償却債権取立益	932	668	△ 264
株式等関係損益	506	712	206
その他	341	307	△ 34
経常利益	4,391	3,983	△ 408
特別損益	△ 62	91	153
税引前中間純利益	4,329	4,074	△ 255
法人税等	△ 920	△ 1,197	277
中間純利益	3,408	2,877	△ 531

資金運用収益（主として有価証券利息配当金）が増加し、資金調達費用（主として外貨調達費用）が減少しました。

評価損の拡大している投資信託についてリスク圧縮・ポートフォリオ改善目的から売却を実施したため、国債等債券関係損益は損失となりました。

業務の見直しと効率化を推し進め、人件費や物件費が減少しました。

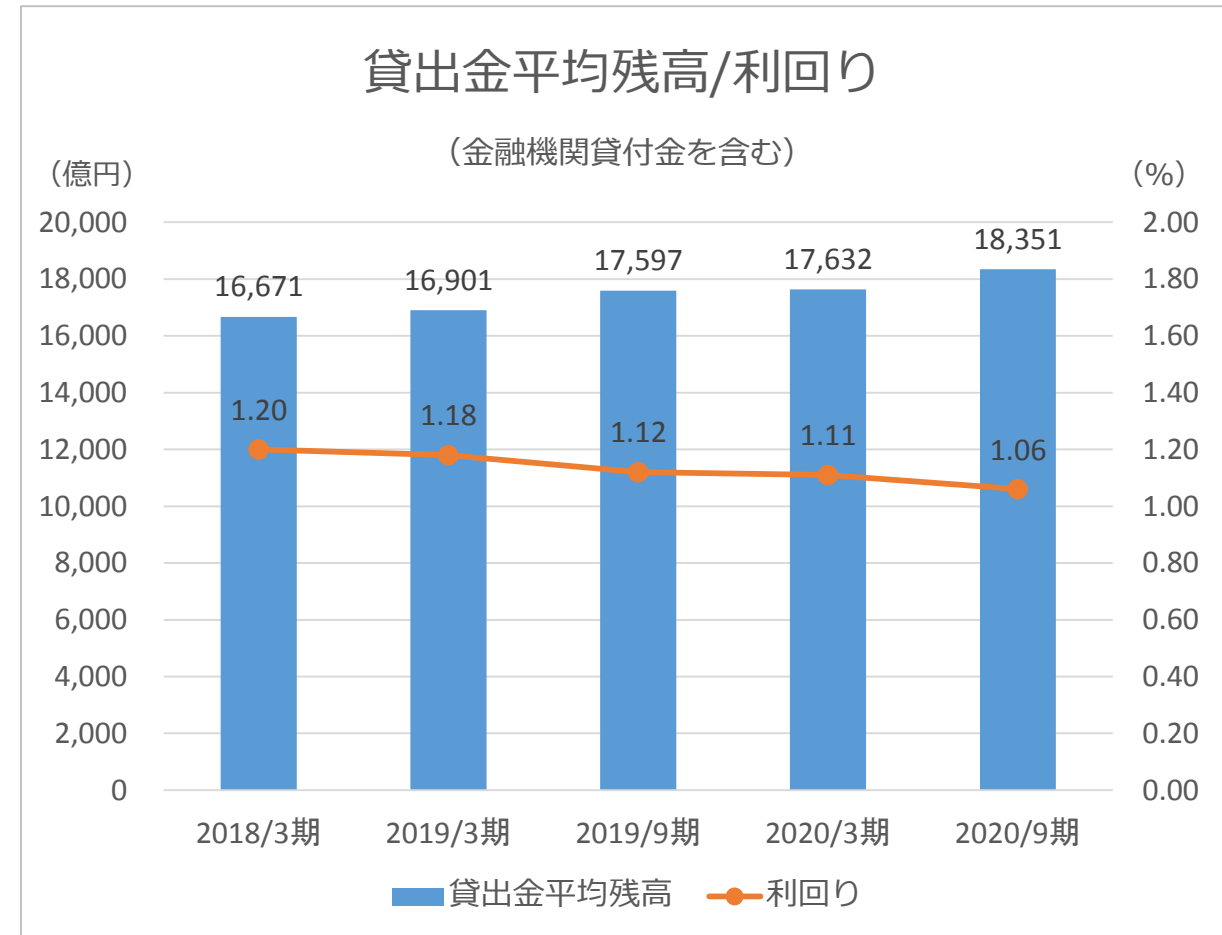
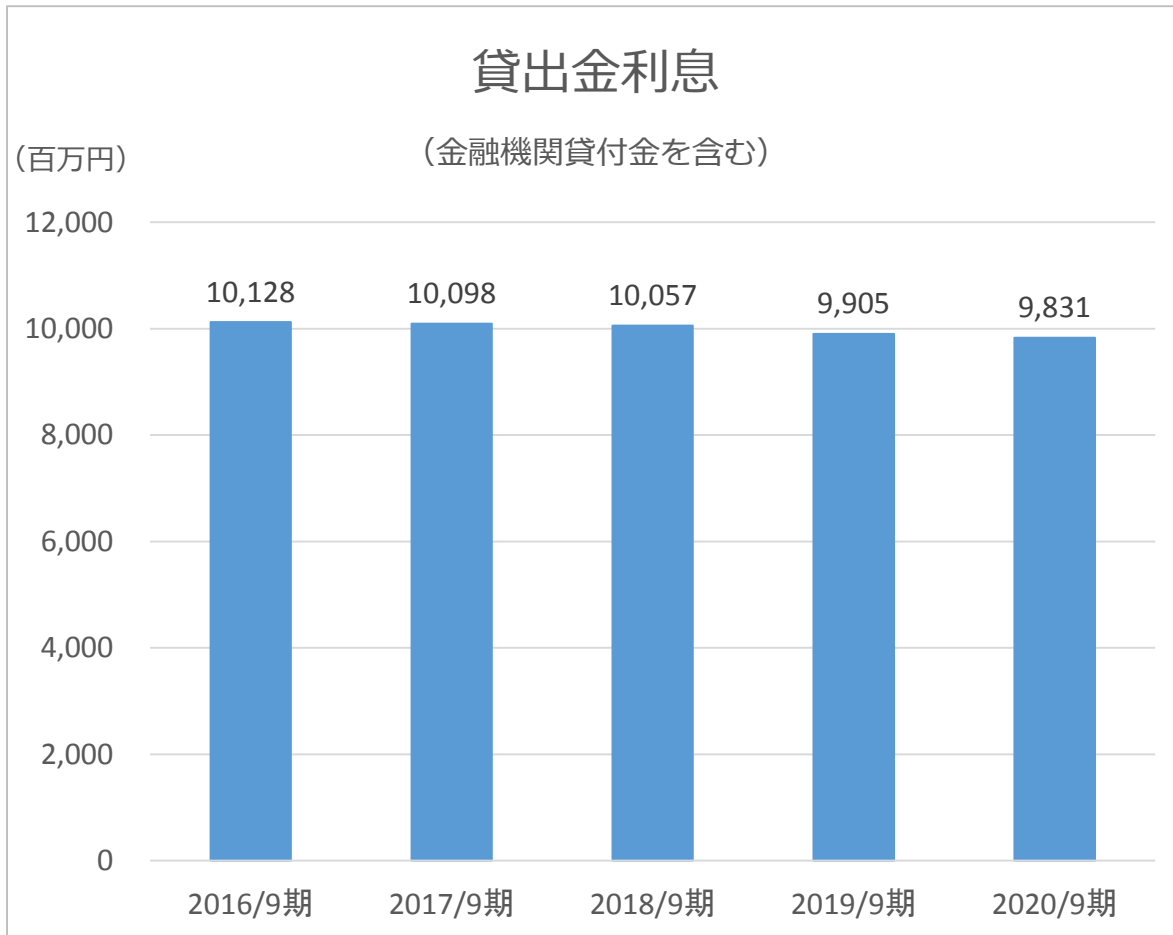
実質与信関係費用は、償却債権取立益の減少によりマイナス額が減少しましたが、ほぼゼロの水準となりました。

固定資産の減損損失の減少に加え、遊休資産の売却による処分益を計上しました。

中間純利益は上記要因により、5億円減少しました。

## 2. 資金利益（貸出金利息と平均残高・利回り）

事業性評価を軸としたコンサルティング活動を推進したことに加え、3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大により事業に影響を受けられたお客さまに対する資金繰り支援を通じ、貸出金平均残高は増加しましたが、貸出金利回りの低下が続き、貸出金利息は前年同期比0億円（74百万円）減少の98億円となりました。



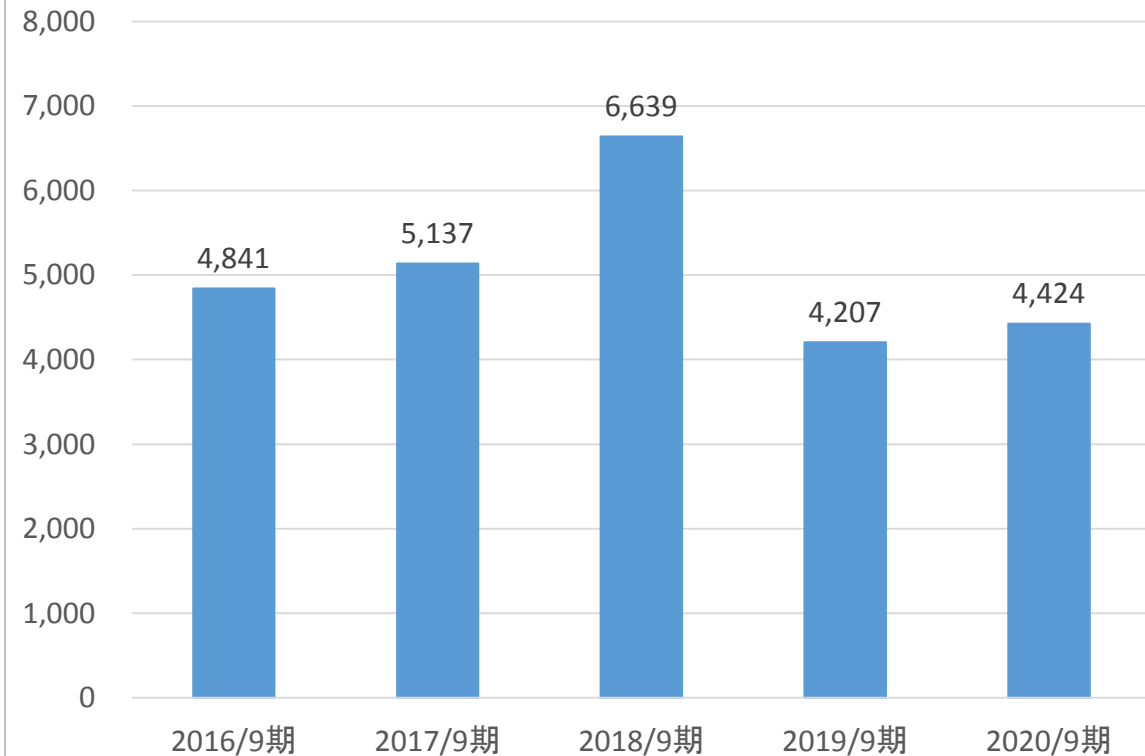
### 3. 資金利益（有価証券利息配当金と平均残高・利回り）

マイナス金利政策の継続に加え、世界的に低金利傾向が強まる厳しい投資環境のなか、運用強化に努めました結果、有価証券利息配当金は前年同期比2億円増加の44億円となりました。

#### 有価証券利息配当金

(商品有価証券を除く)

(百万円)

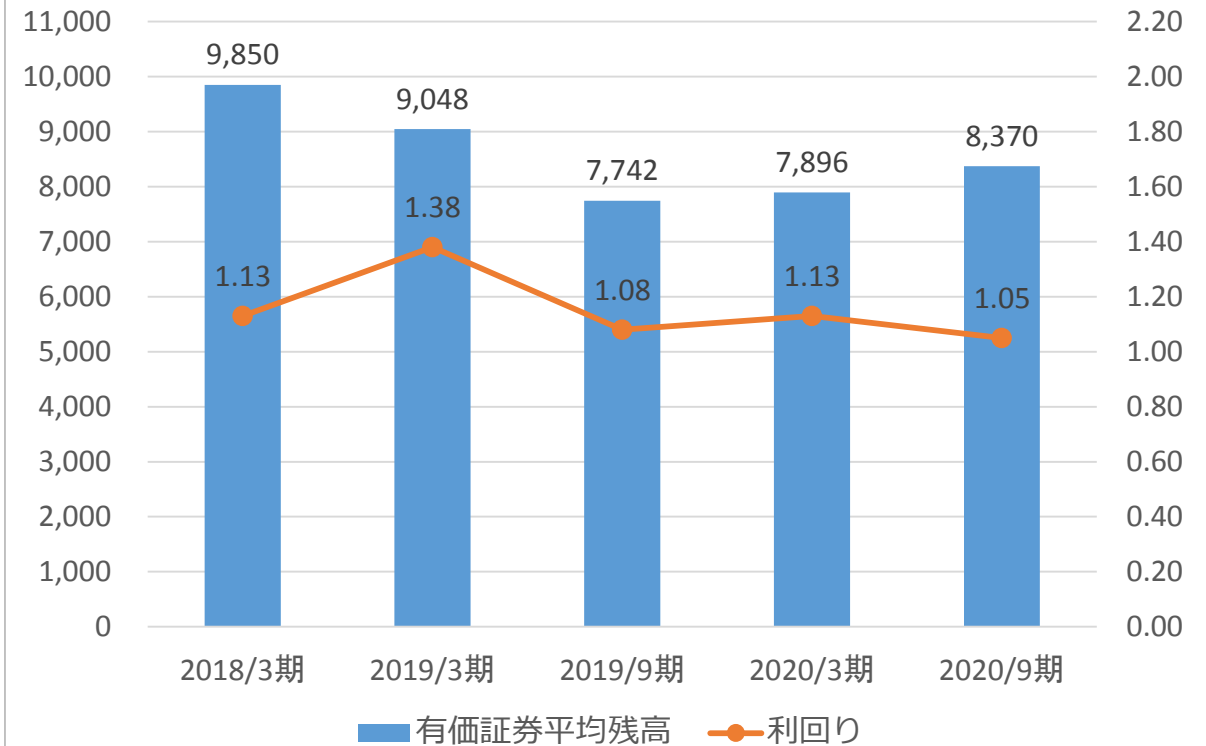


#### 有価証券平均残高/利回り

(商品有価証券を除く)

(億円)

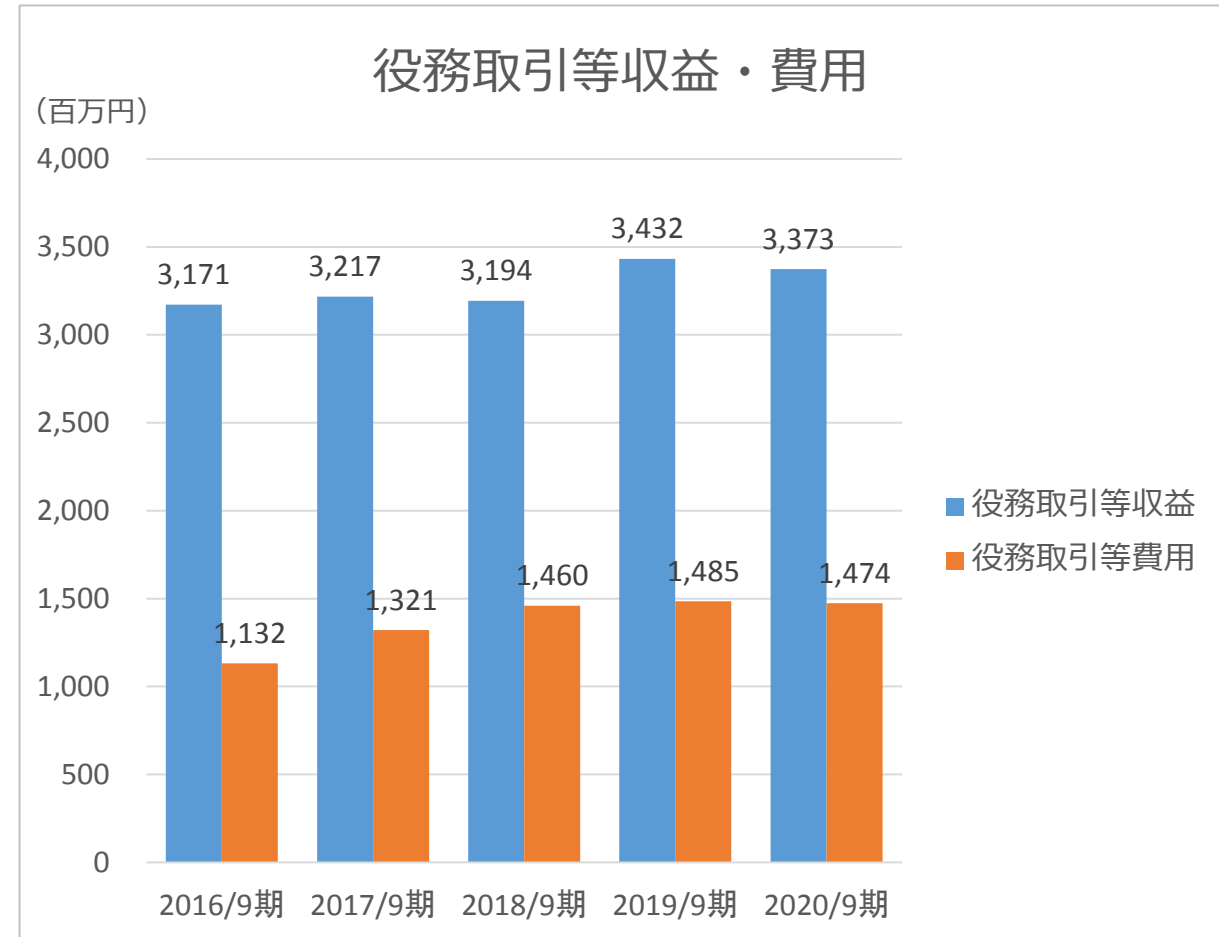
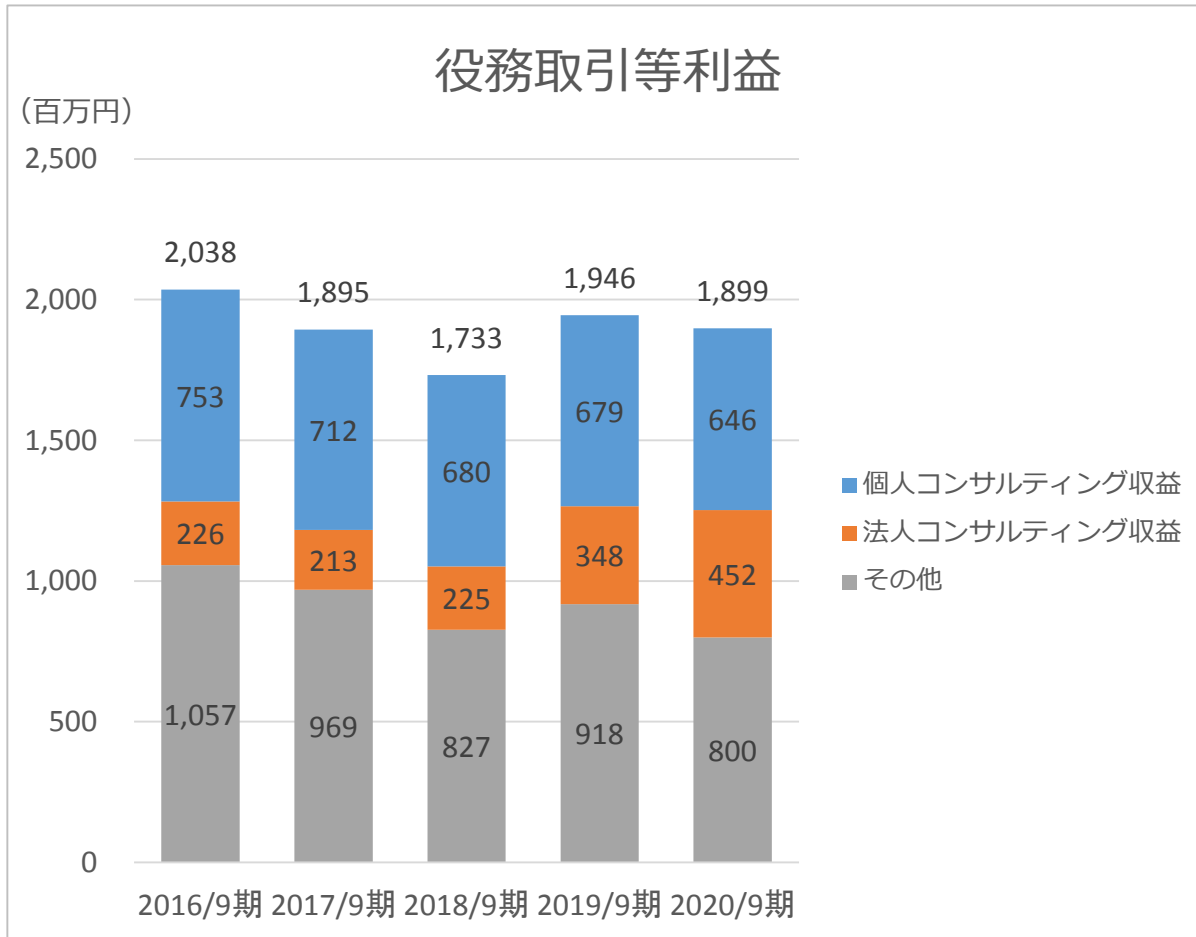
(%)





## 4. 役務取引等利益（1）内訳

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり個人コンサルティング収益は減少しましたが、法人コンサルティング収益が増加し、ほぼ前年同期並みの18億円となりました。

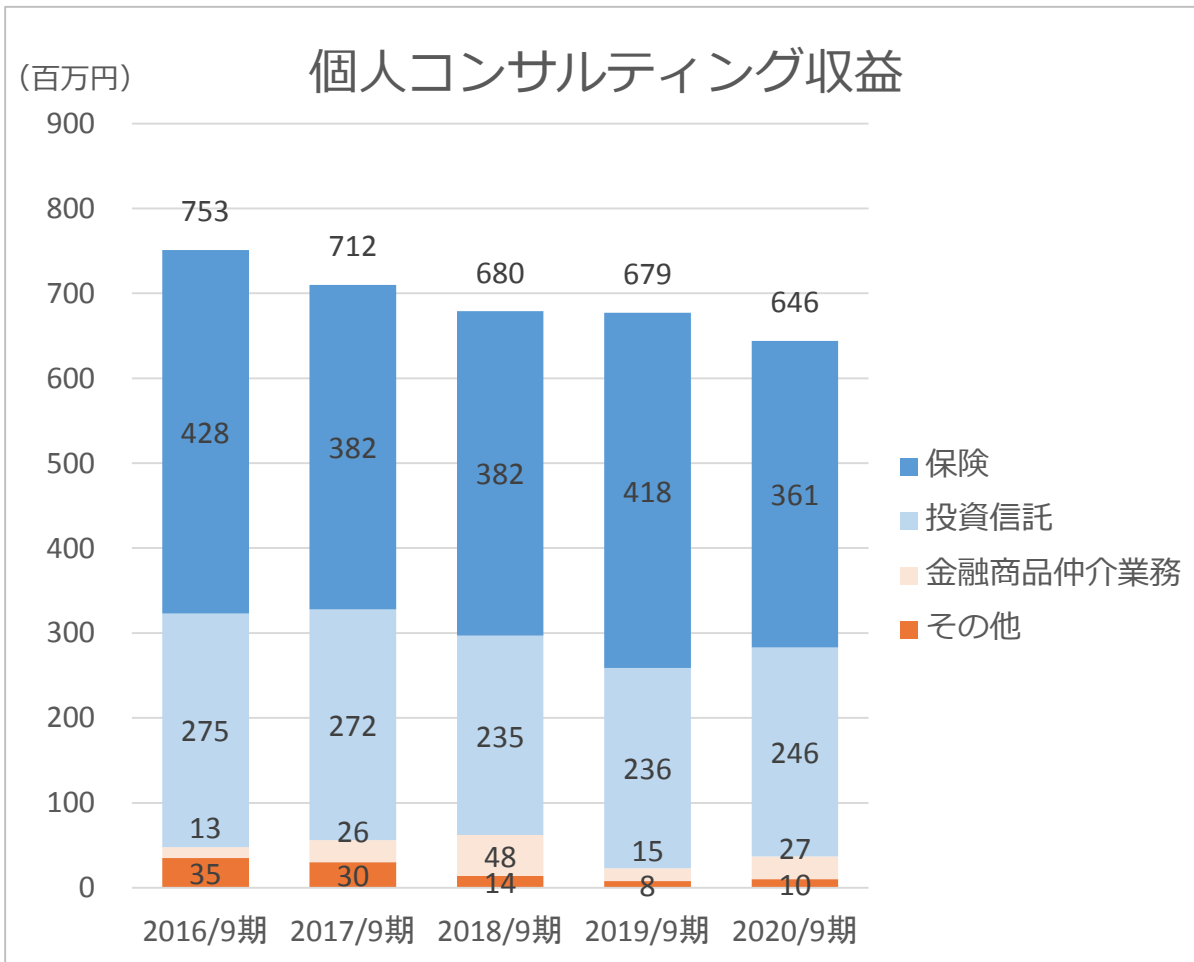


(注) 管理会計ベース

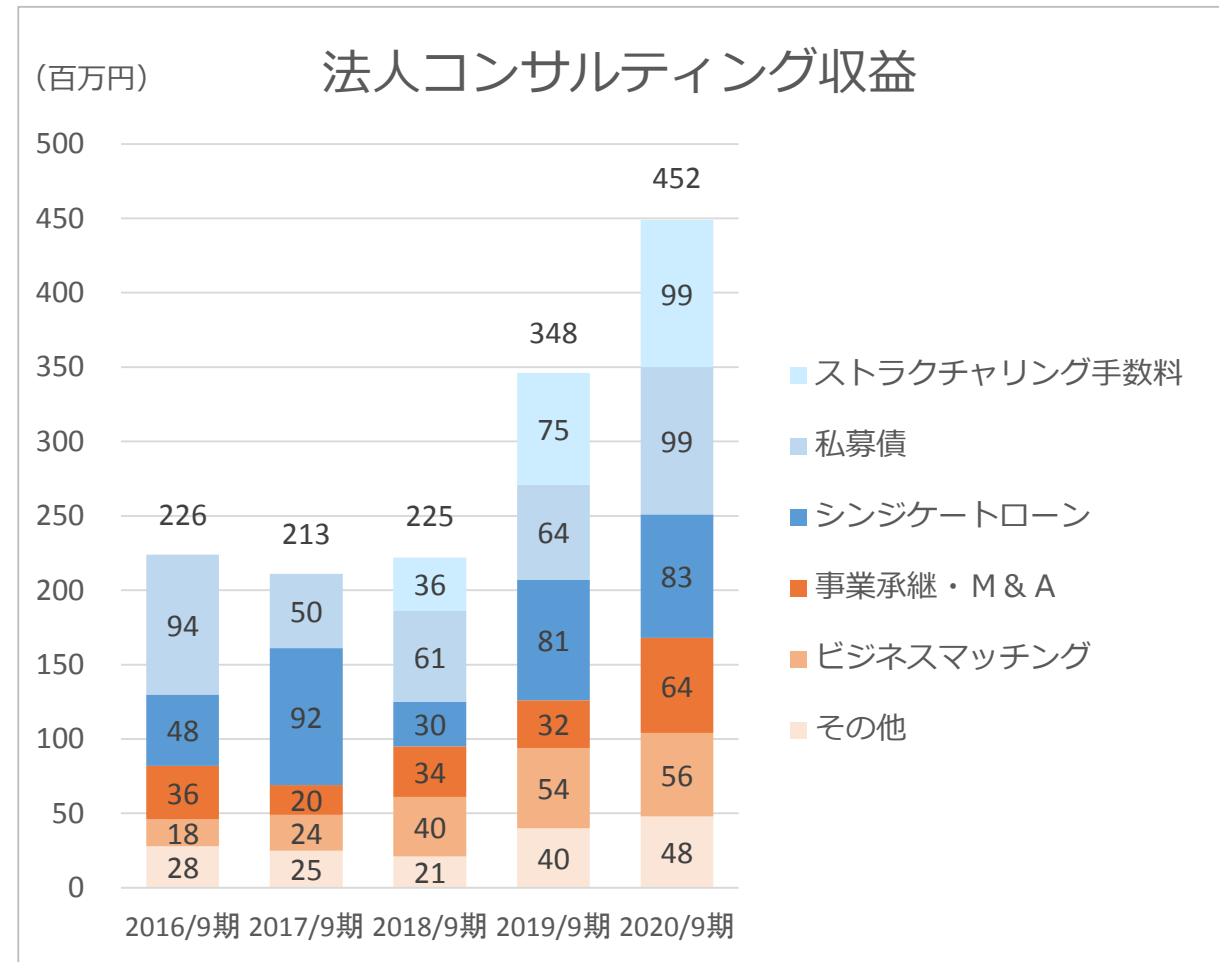
## 4. 役務取引等利益（2）個人コンサルティング収益、法人コンサルティング収益

お客様の資産形成ニーズに合わせた幅広いご提案に努めましたが、新型コロナウイルス感染症に配慮した営業活動の影響等もあり、前年同期比0億円（33百万円）減少の6億円となりました。

多様な資金調達ニーズに対応したスキームの構築や、事業承継・M&Aニーズへの積極的な取組み等により、前年同期比1億円増加の4億円となりました。



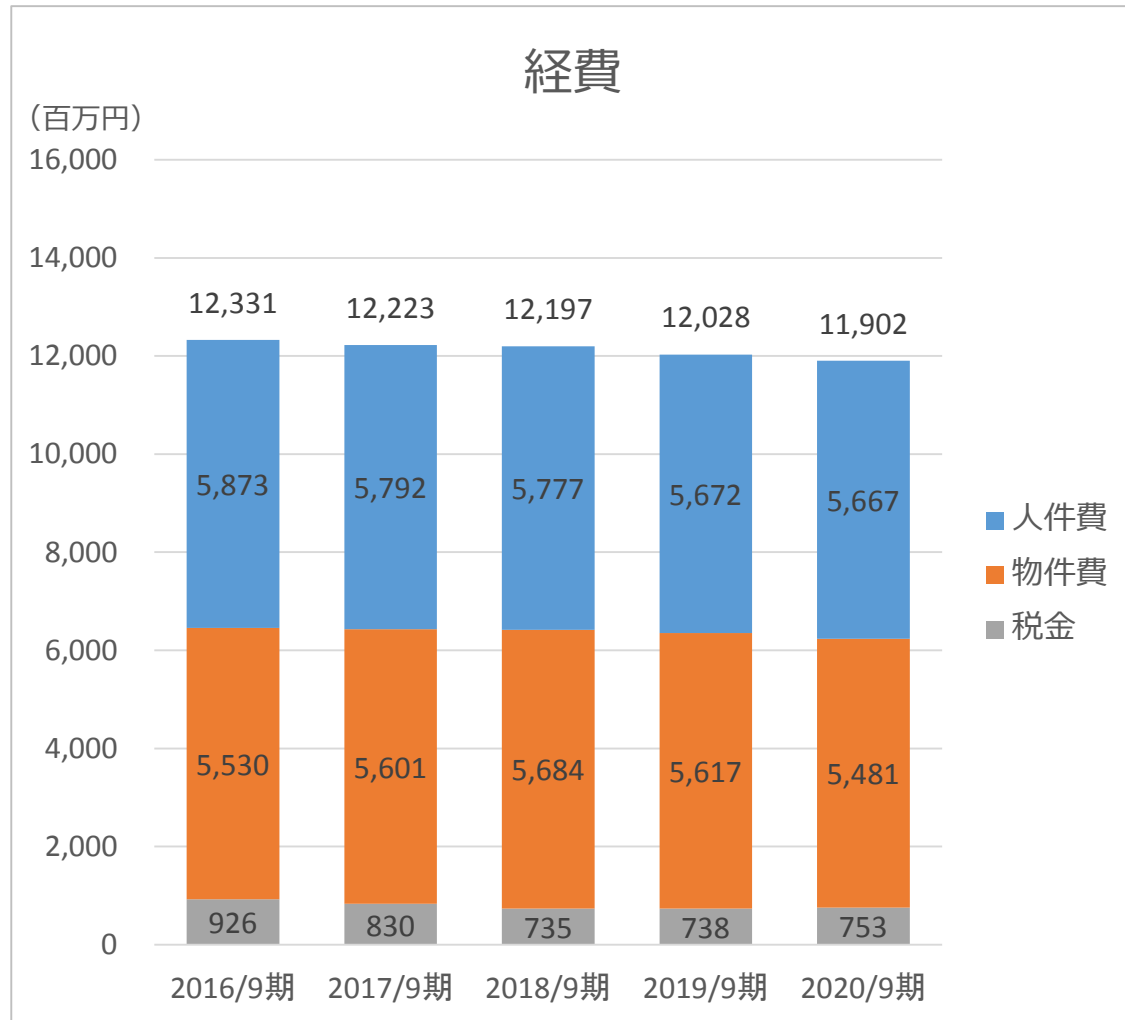
(注) 管理会計ベース



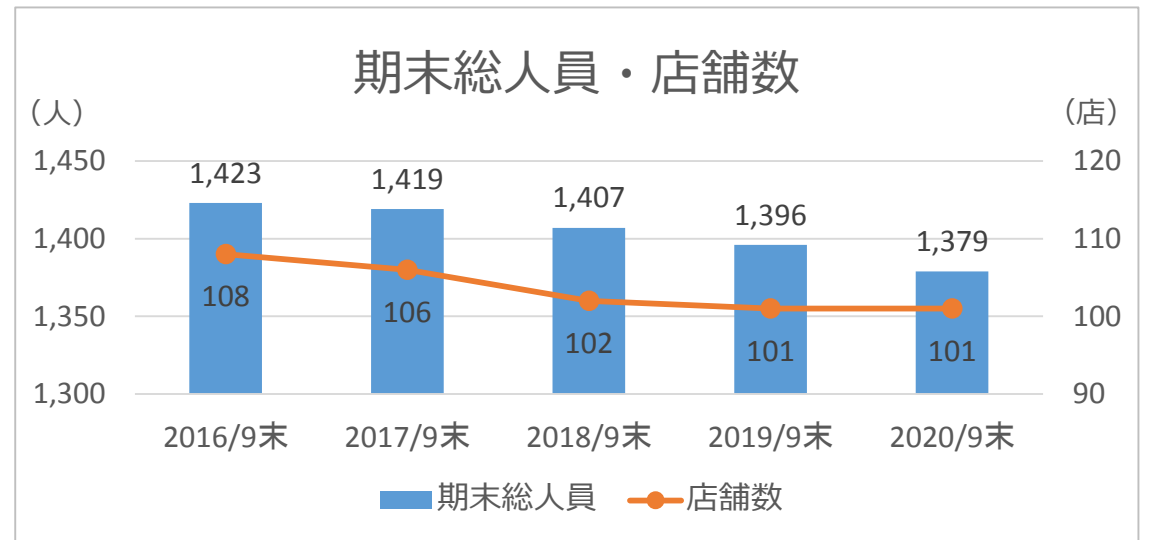
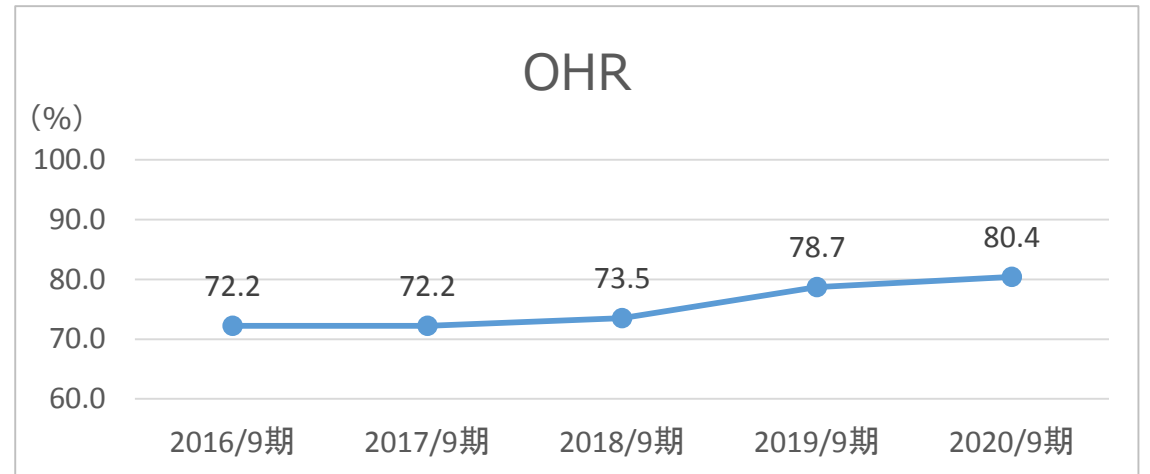
(注) 管理会計ベース

## 5. 経費及び経営効率

BPR・ICT戦略に基づき業務の見直しと効率化を推し進めました結果、人件費や物件費が減少し、経費は前年同期比1億円減少の119億円となりました。



期末総人員は前年同期末比17人減少の1,379人となりました。近年減少傾向にあります。また、店舗数は前年同期末から変動はありませんが、ランチ・イン・ランチ方式にて3店舗の移転統合を行いました。



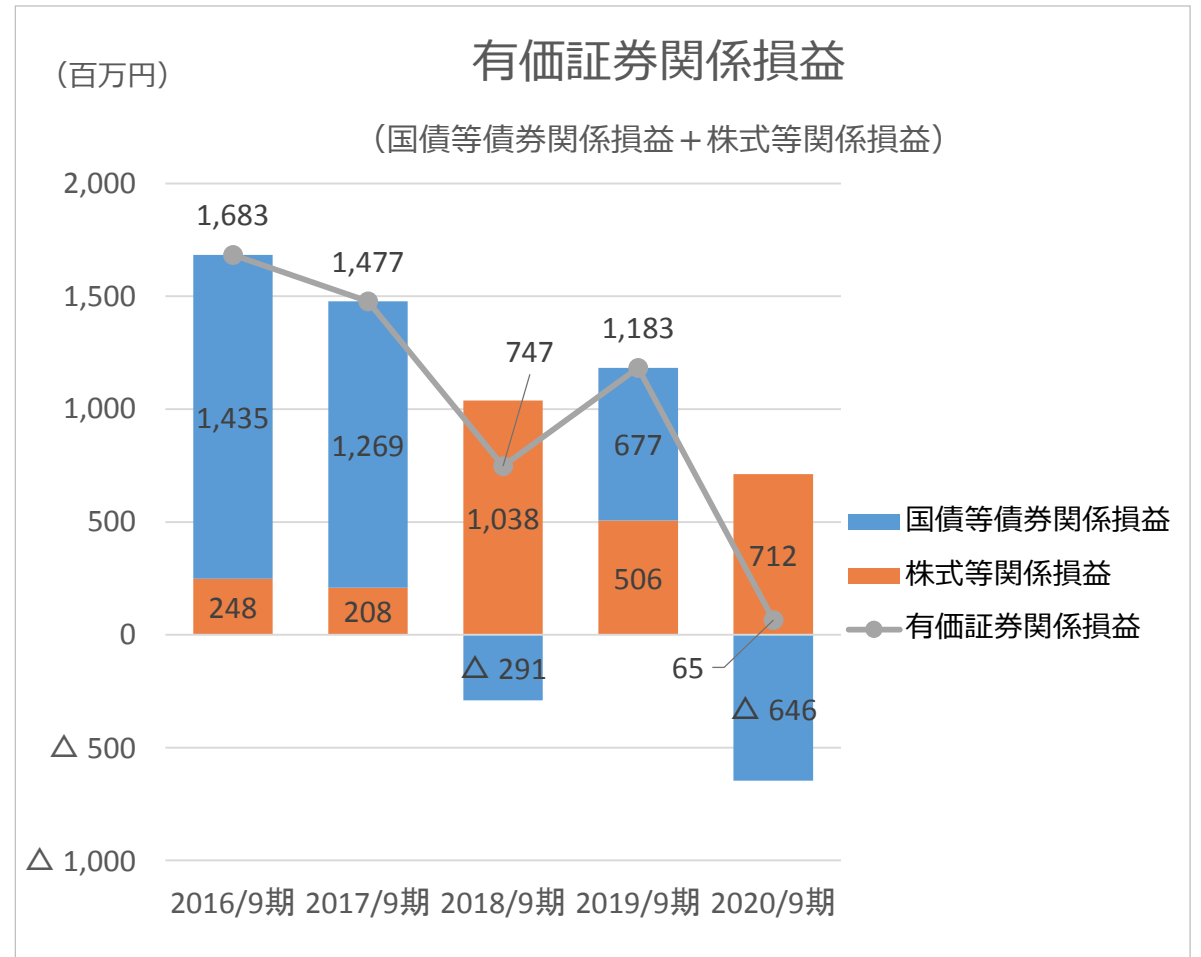
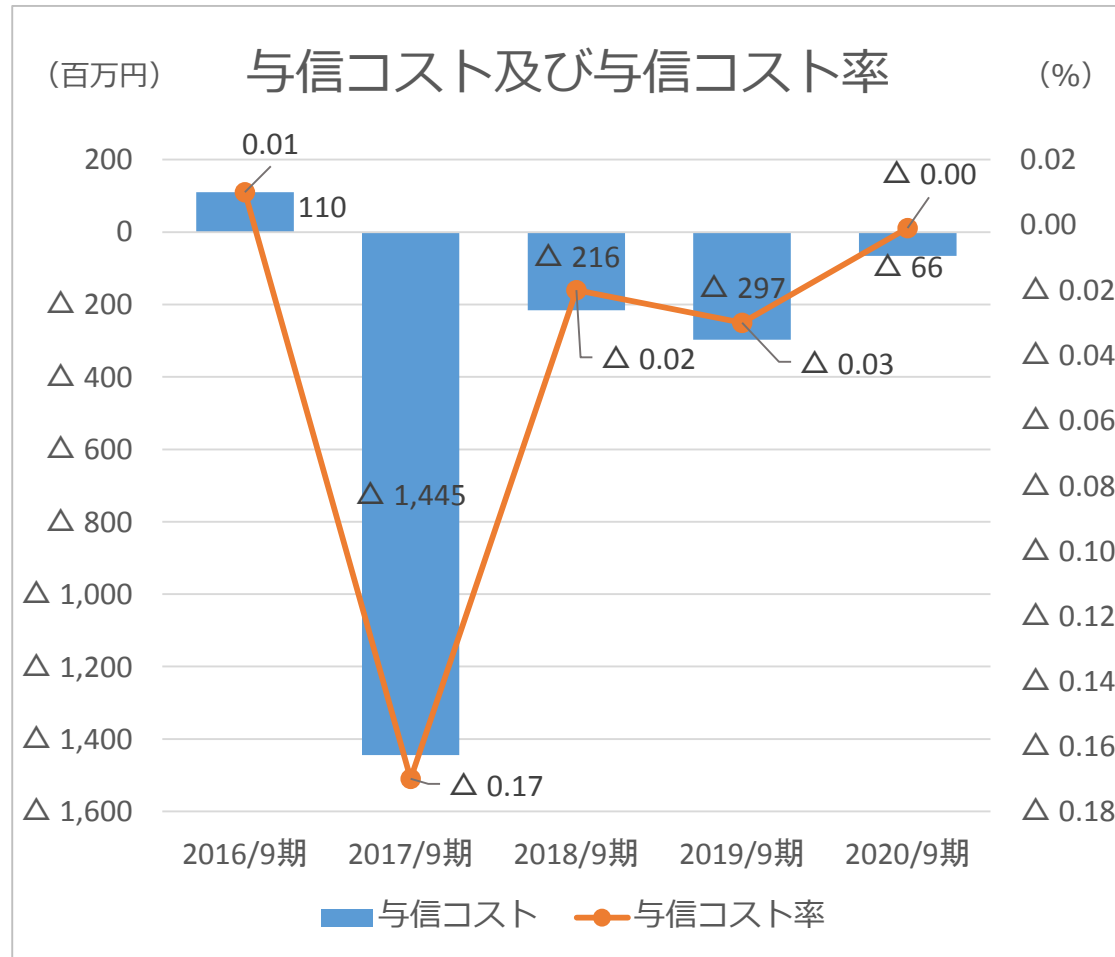
## 6. 与信コスト及び与信コスト率、有価証券関係損益

与信コスト（=実質与信関係費用）は、近年、低位安定してマイナスが継続しているなか、当期も0億円（66百万円）のマイナスとなりました。与信コスト率につきましても△0.00%となりました。

評価損の拡大している投資信託についてリスク圧縮・ポートフォリオ改善目的から売却を実施したため、国債等債券関係損益は損失となり、有価証券関係損益は前年同期比11億円減少の0億円（65百万円）となりました。

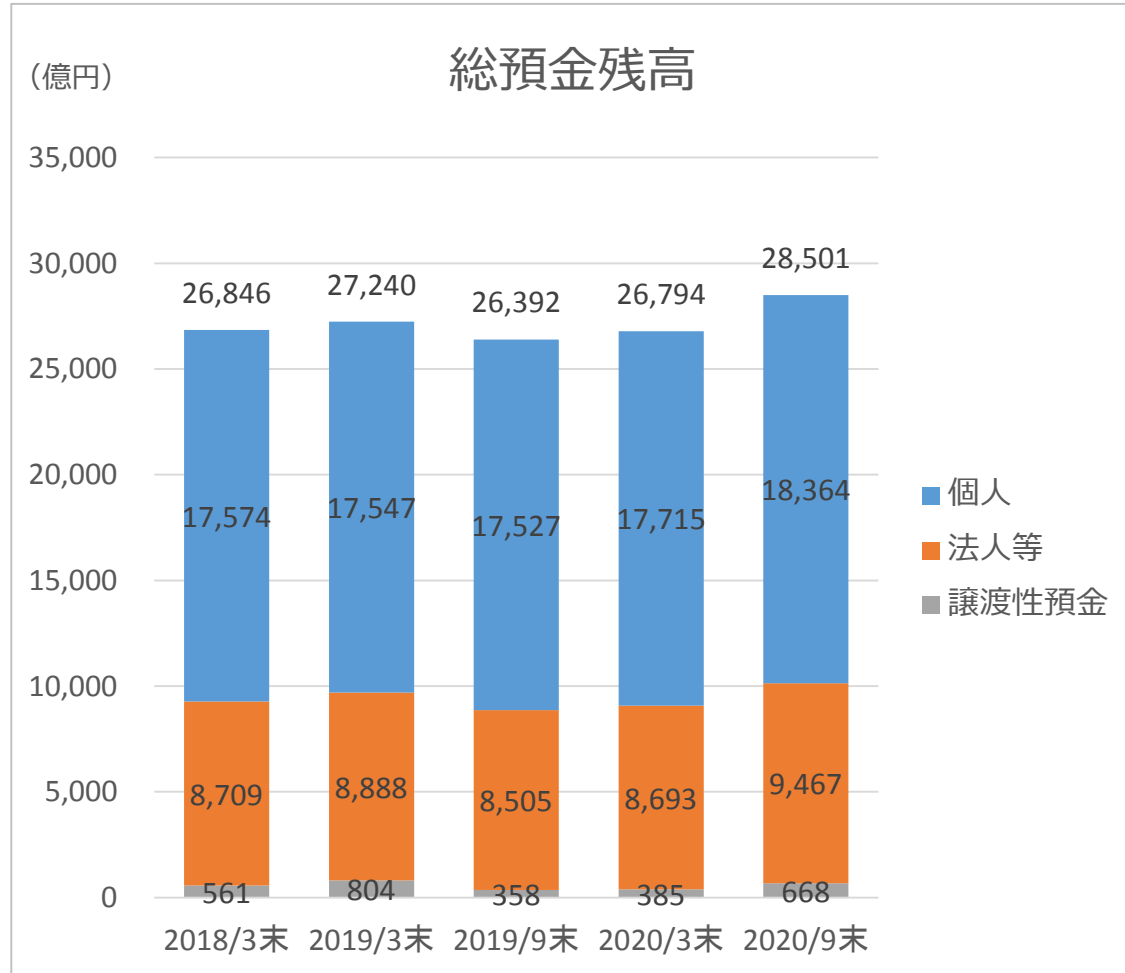
\*国債等債券関係損益 = 売却益 + 償還益 - 売却損 - 償還損 - 償却

\*株式等関係損益 = 売却益 - 売却損 - 償却

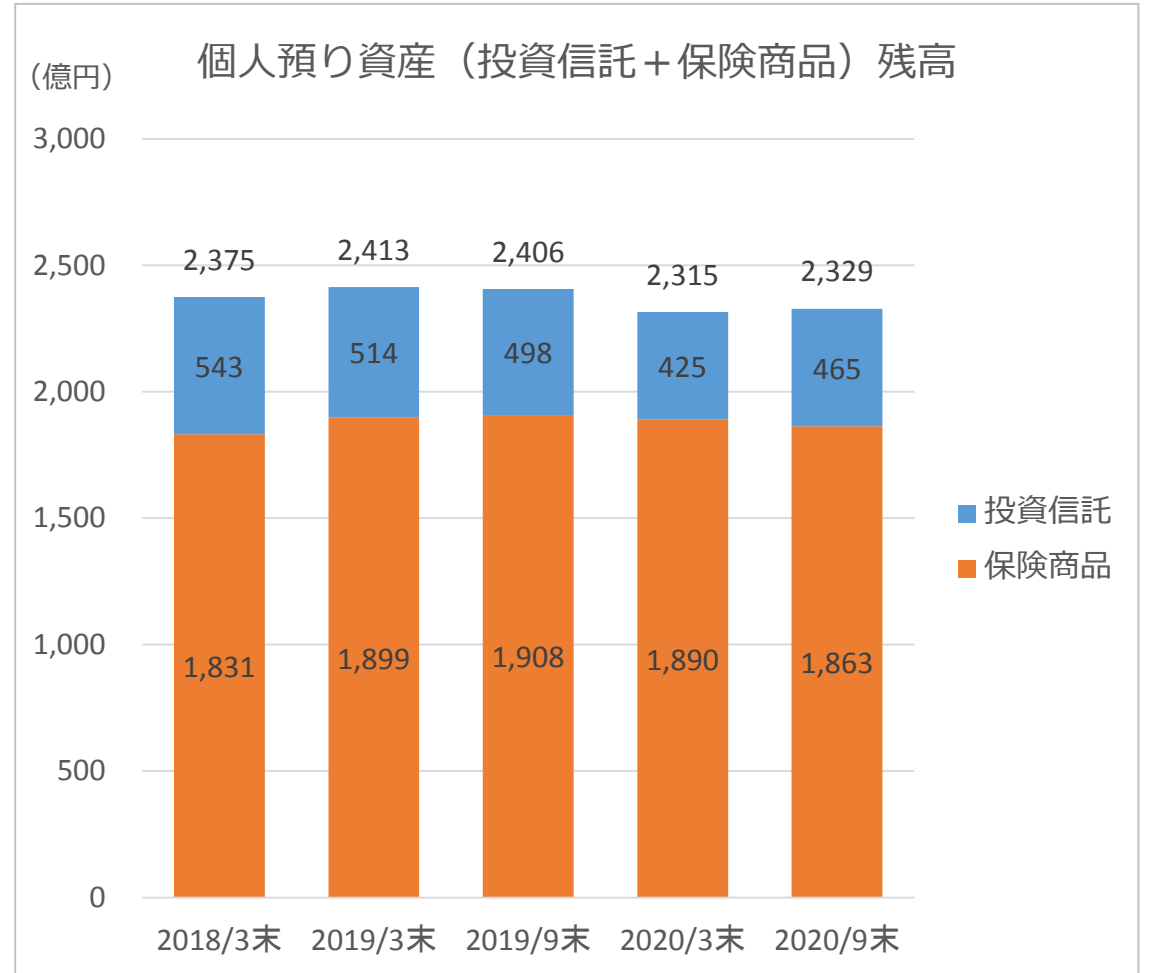


## 7. 総預金及び個人預り資産残高

個人預金、法人等預金及び譲渡性預金がそれぞれ増加し、総預金（譲渡性預金を含む）は前年同期末比2,109億円増加の2兆8,501億円となりました。前年度末比では1,707億円増加しております。



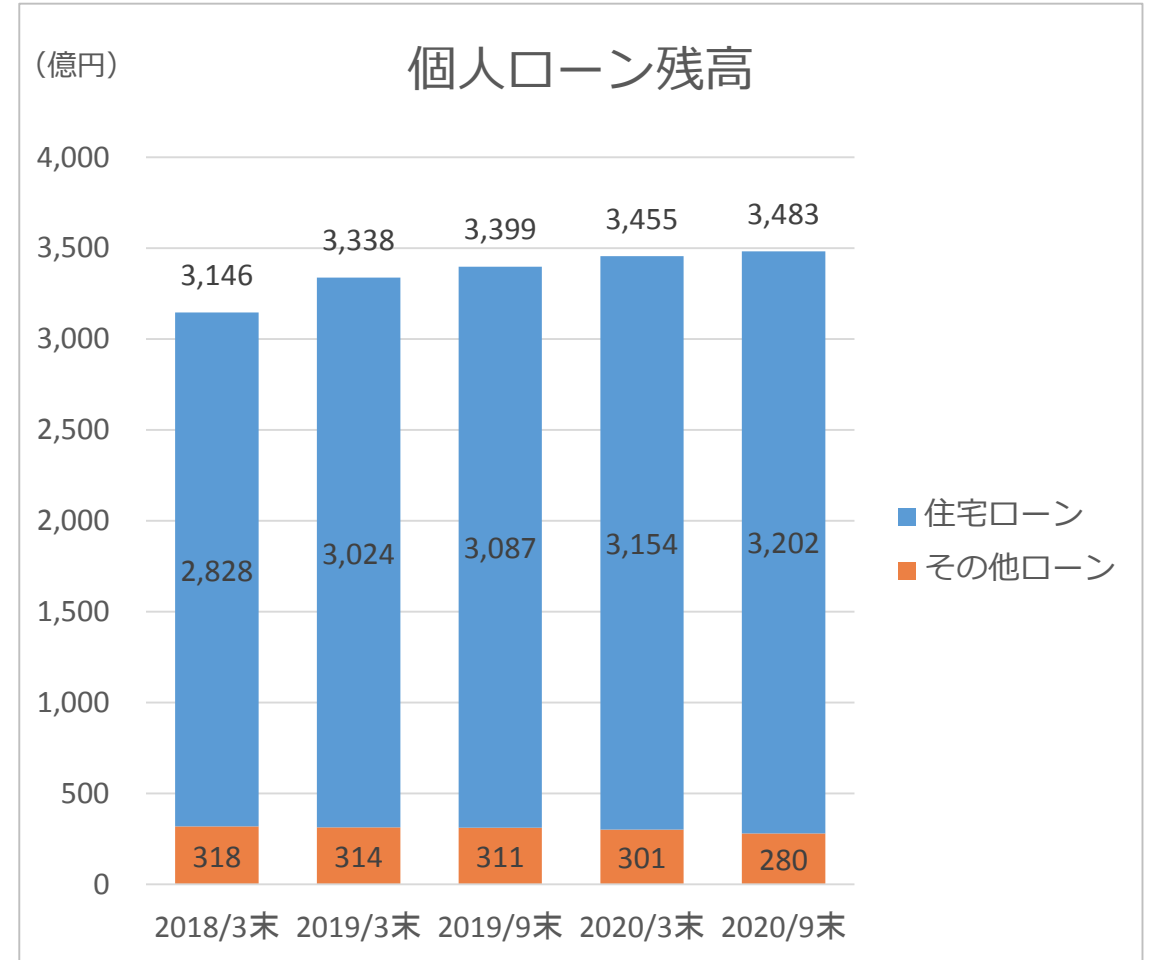
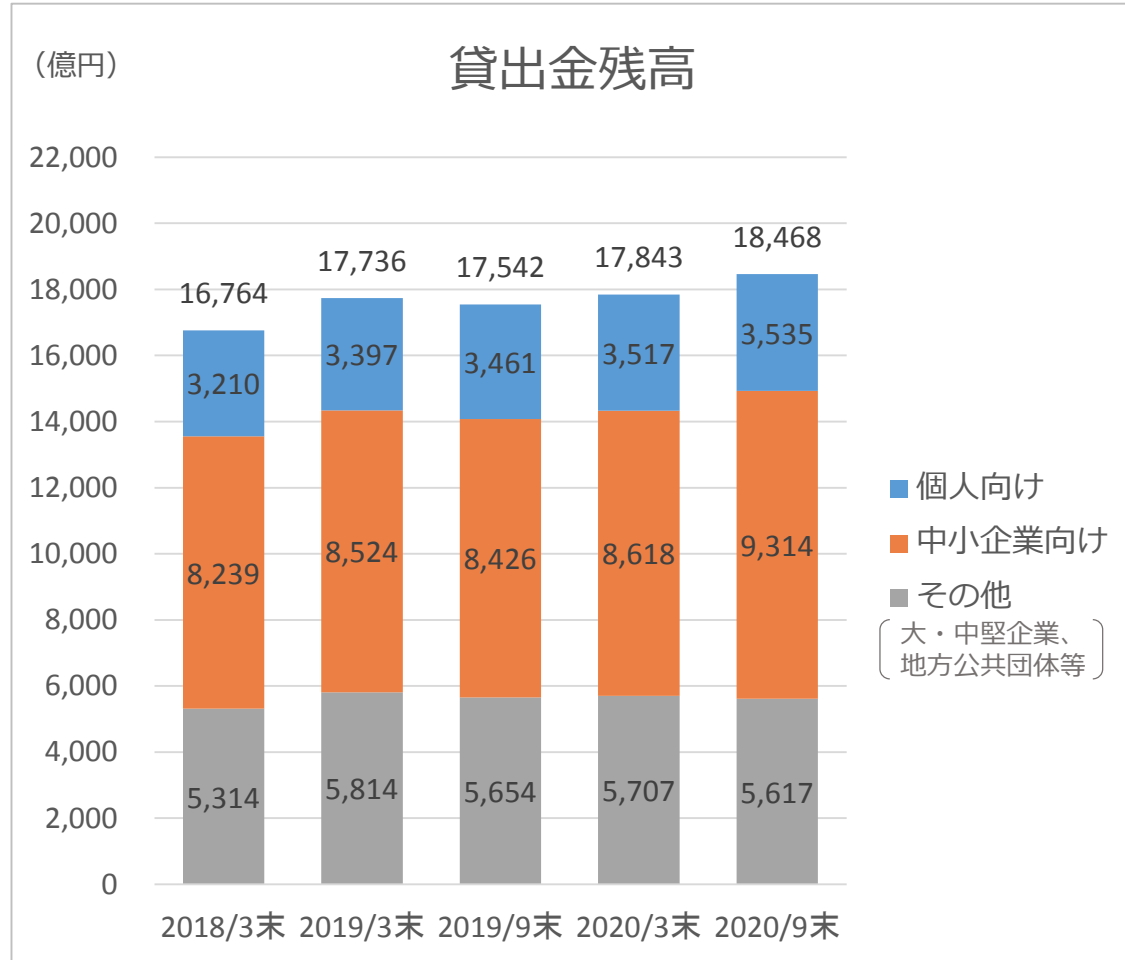
お客さまに寄り添った個人コンサルティング活動を行いました。新型コロナウイルス感染症に配慮した営業活動により、個人預り資産残高は前年同期末比77億円減少の2,329億円となりました。前年度末比では14億円増加しております。



## 8. 貸出金残高及び個人ローン残高

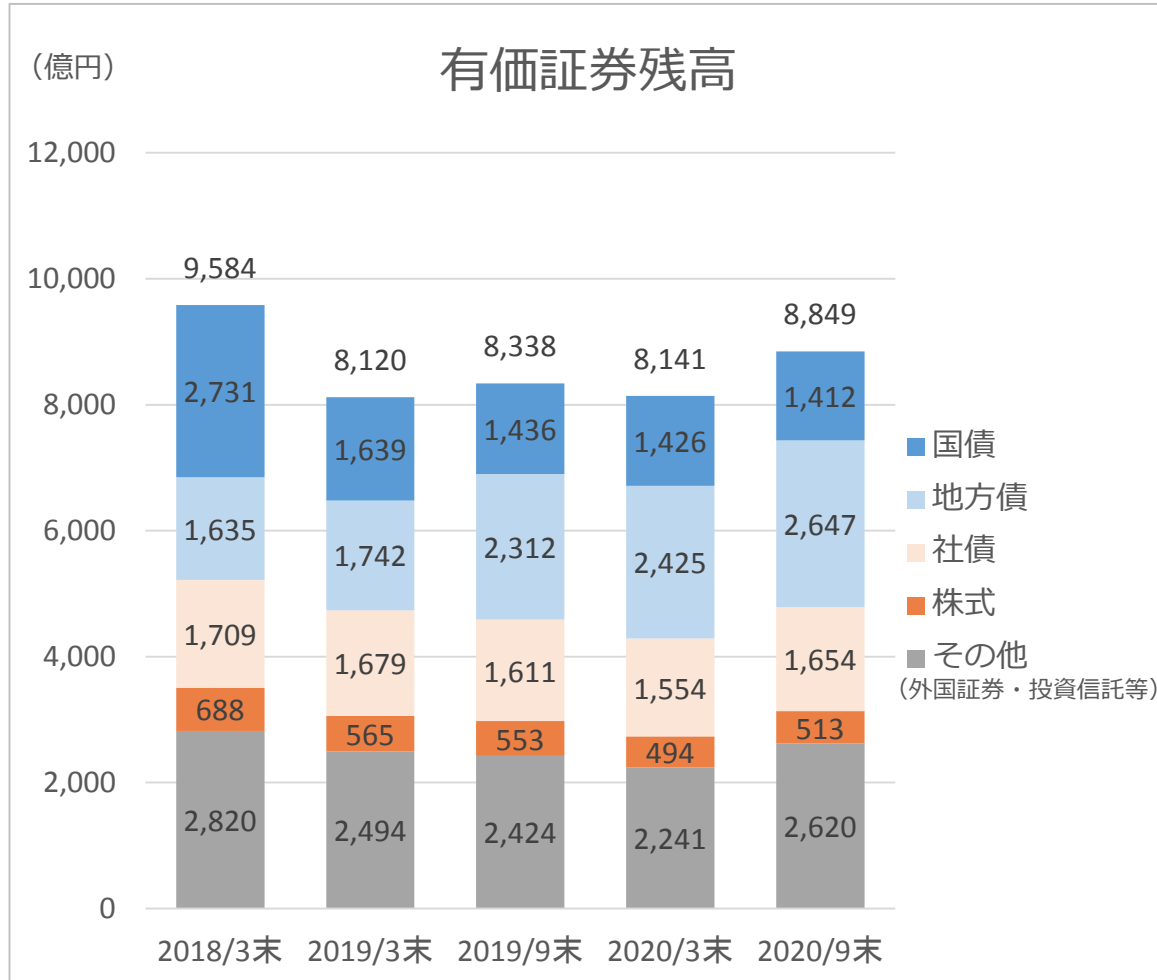
貸出金は、引き続きアセット構造の改革を推進したことにより、大・中堅企業向けは減少しましたが、新型コロナウイルス感染症に伴う資金繰り支援に積極的に対応した結果、中小企業向けの増加等により、前年同期末比926億円増加の1兆8,468億円となりました。前年度末比では625億円増加しております。

個人ローンは、ローンプラザを中心に推進したことで住宅ローンが増加し、前年同期末比84億円増加の3,483億円となりました。前年度末比では28億円増加しております。

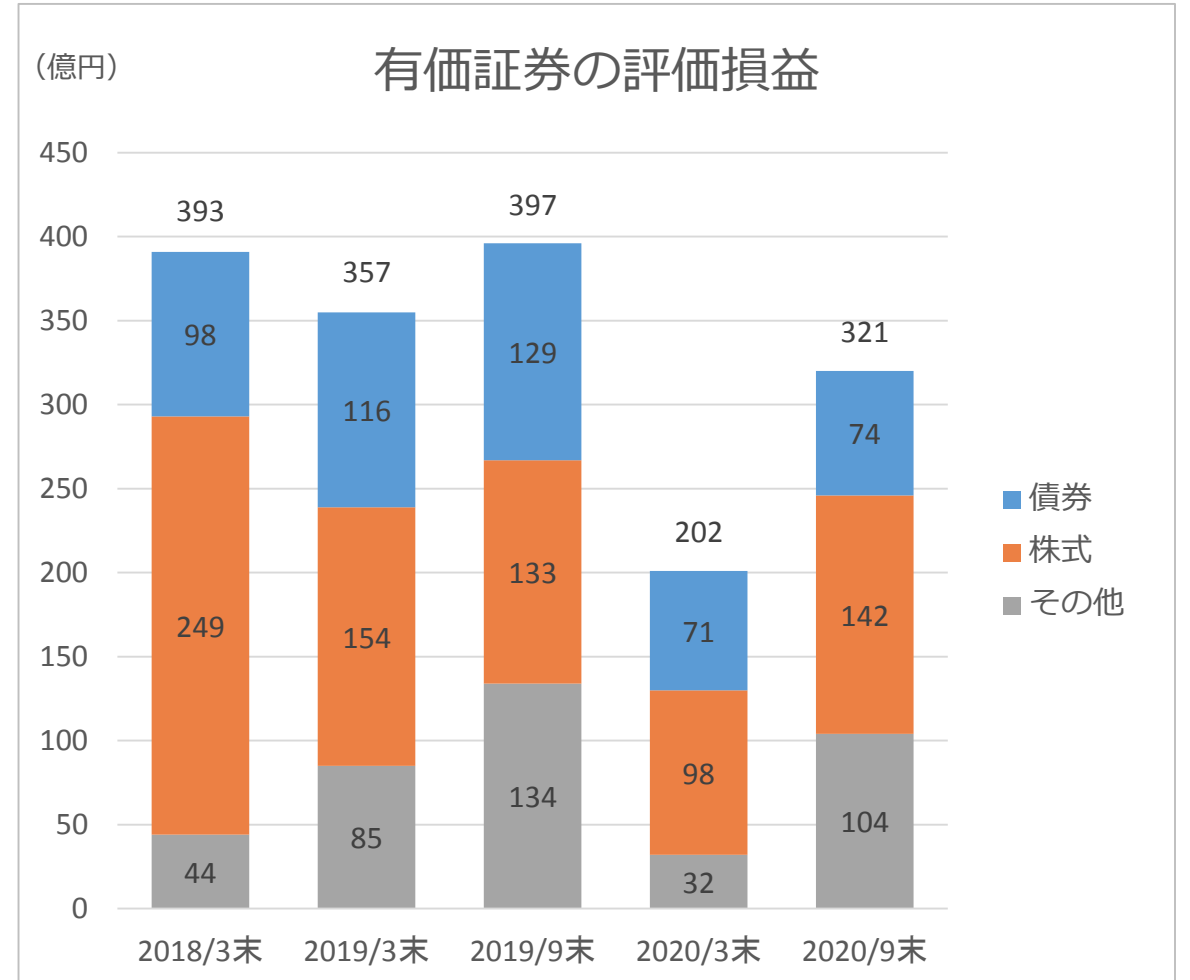


## 9. 有価証券残高・評価損益

地方債や投資信託を中心に投資しました結果、有価証券残高は前年同期末比511億円増加の8,849億円となりました。前年度末比では708億円増加しております。

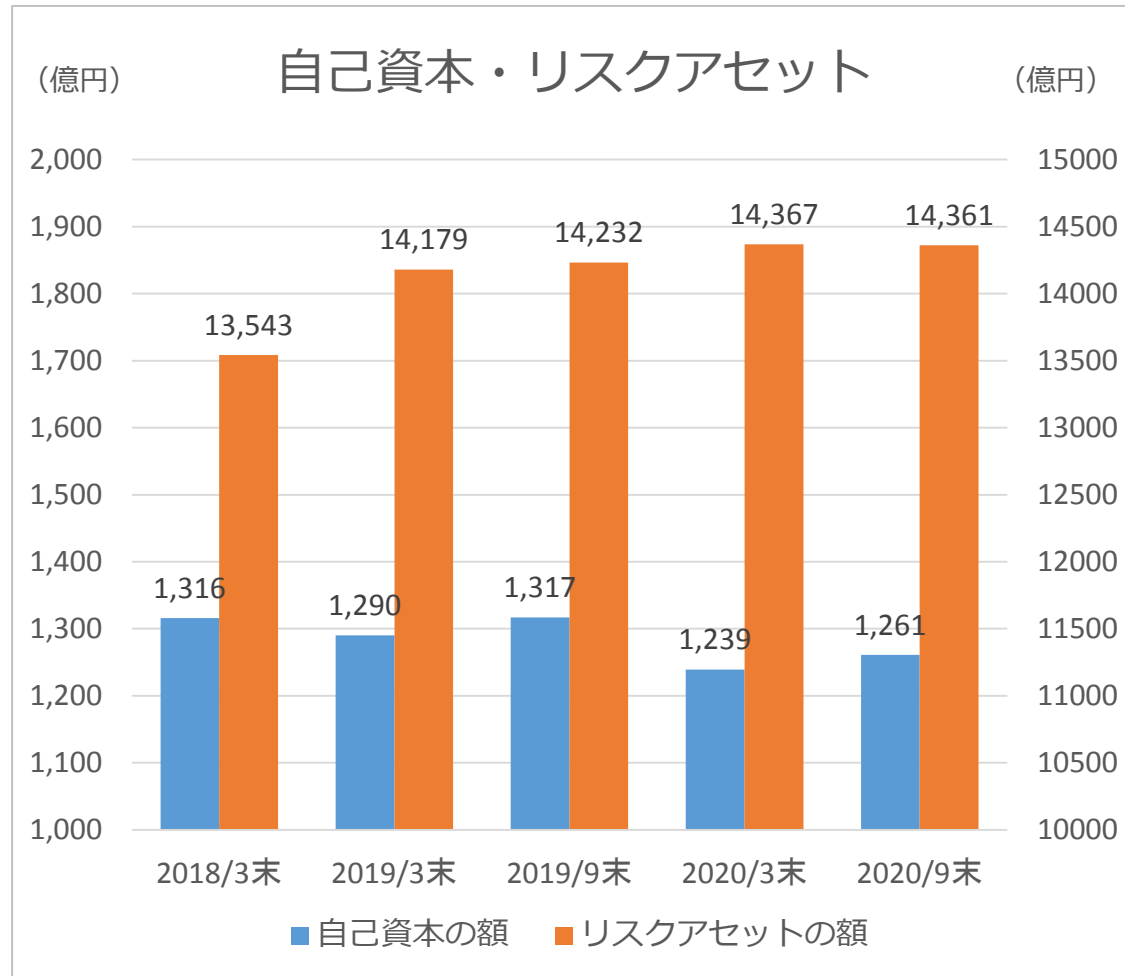


株式の評価益は増加しましたが、債券・その他の評価益が減少し、有価証券の評価損益（含み損益に相当）は前年同期末比76億円減少の321億円となりました。前年度末比では新型コロナウイルス感染症による市場の混乱からの回復もあり119億円増加しております。

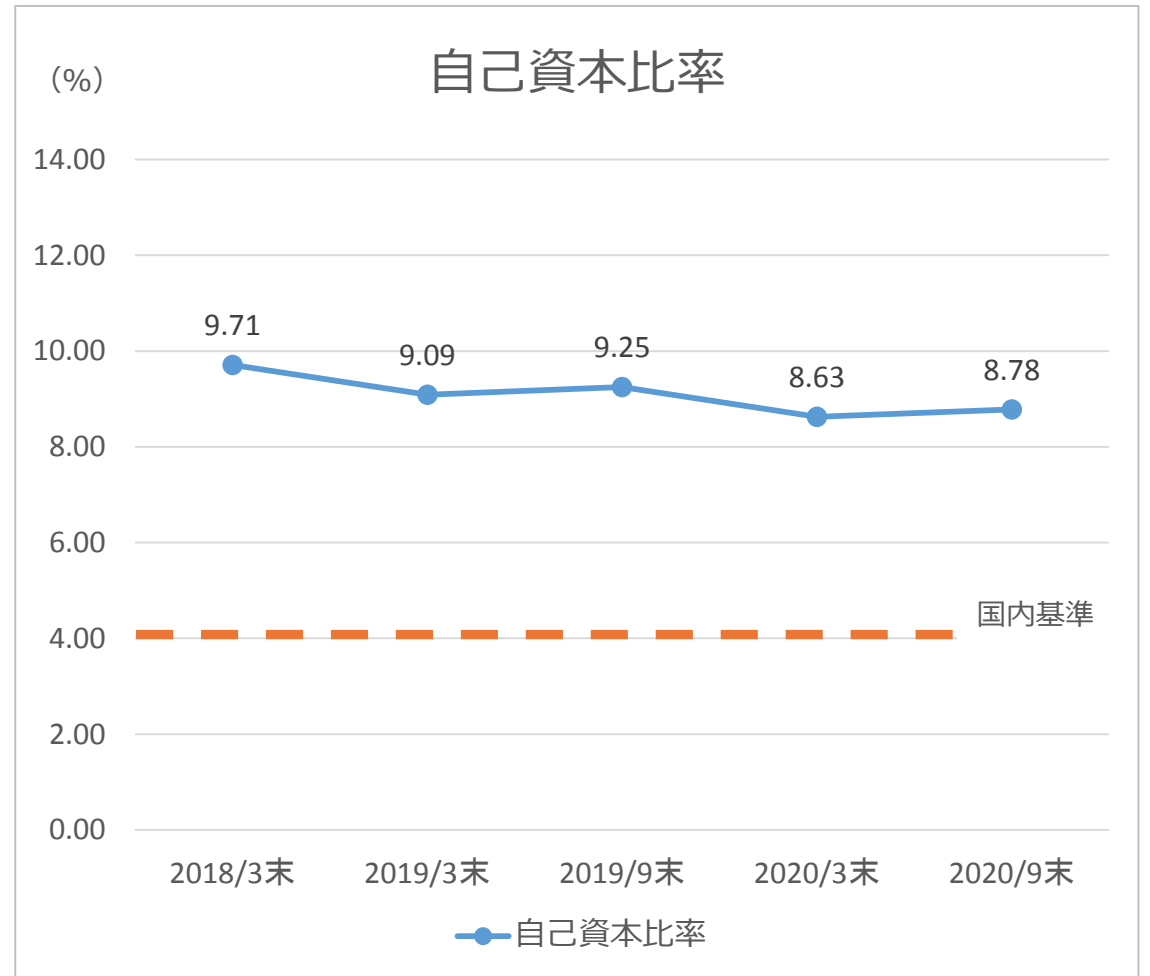


## 10. 自己資本比率

自己資本の額は、中間純利益の内部留保等により、前年度末比22億円増加の1,261億円となりました。また、リスクアセットの額は、前年度末比6億円減少の1兆4,361億円となりました。



自己資本比率は、左記要因により、前年度末比0.15ポイント上昇し8.78%となりました。国内基準行に求められる4%以上の基準を大きく上回っております。

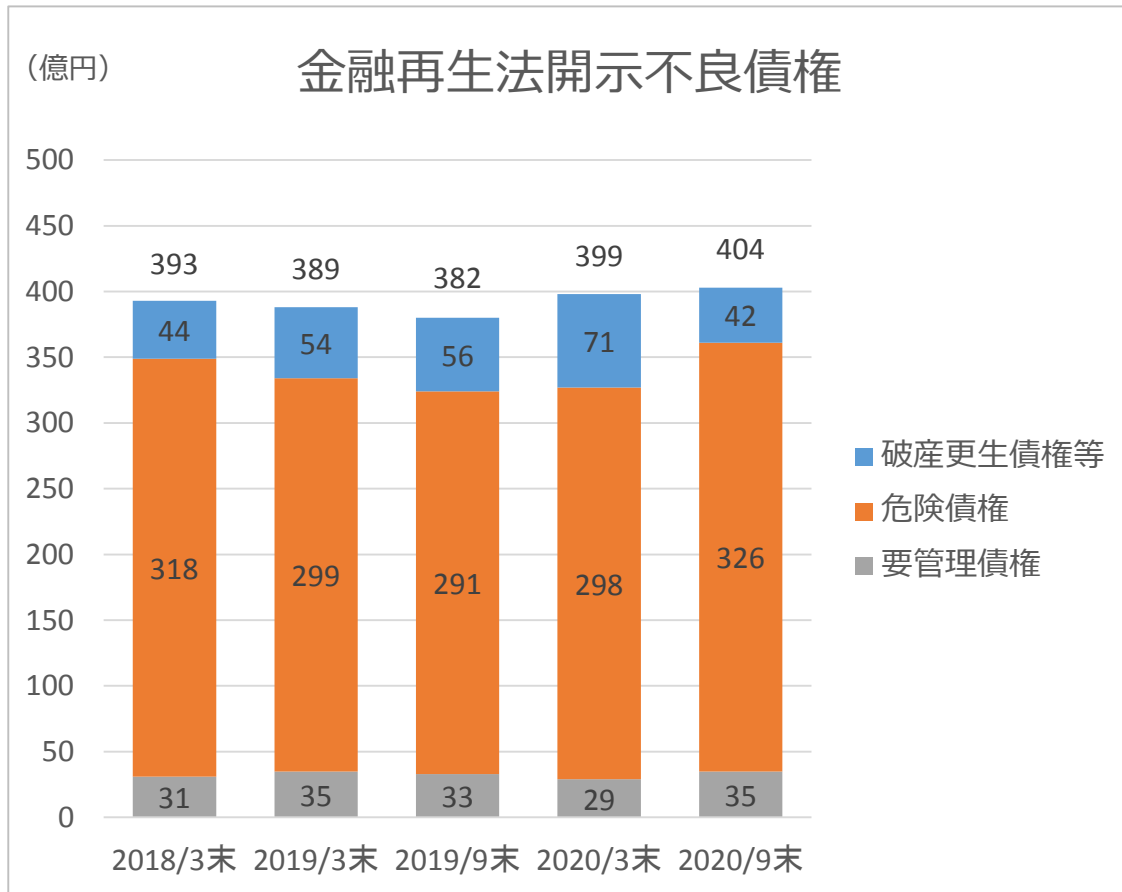




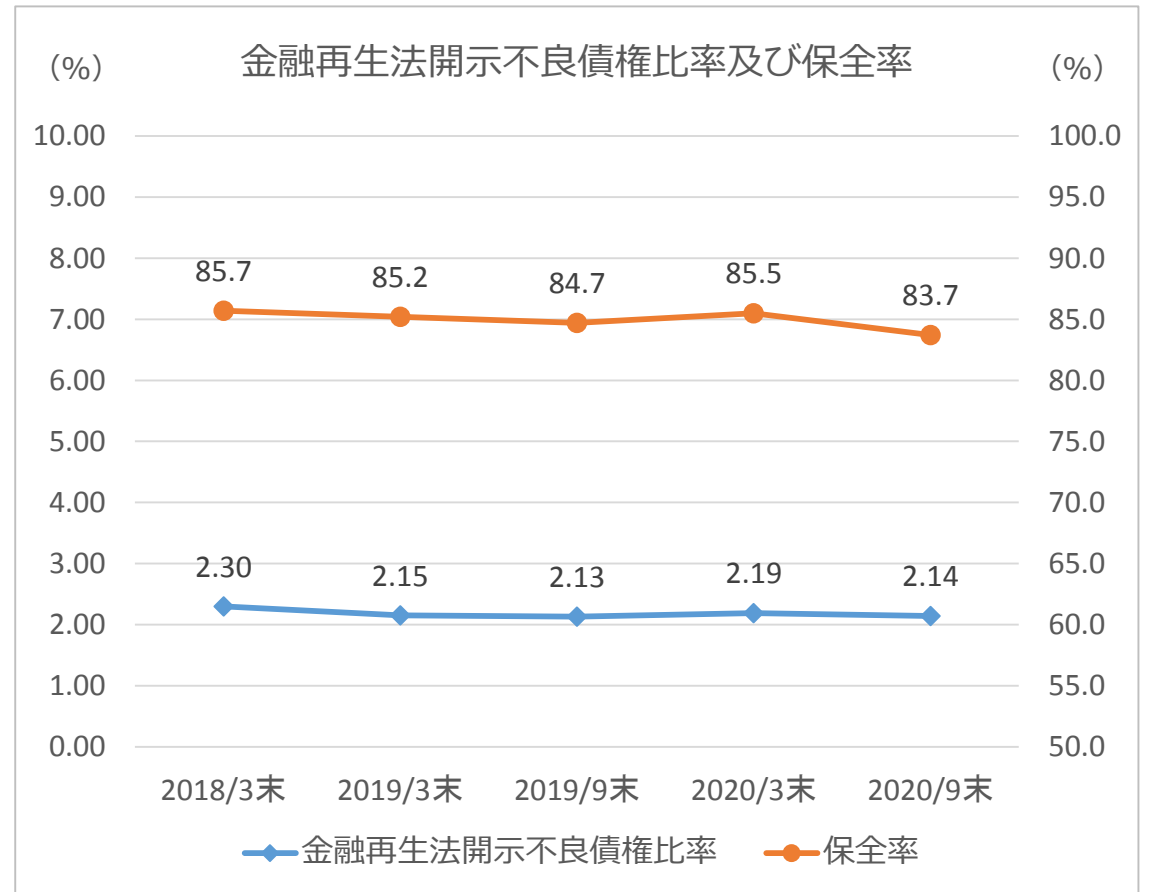
## 1.1. 不良債権の状況

金融再生法に基づく開示不良債権の総額は、経営改善等中小企業金融の円滑化に取り組むなか、債務者区分の見直しもあり、前年度末比5億円増加の404億円となりました。

\* 不良債権総額 = 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 + 危険債権 + 要管理債権



金融再生法開示不良債権比率は、開示不良債権額は増加しましたが正常債権も増加し、前年度末比0.05ポイント低下の2.14%となりました。また、不良債権が貸倒引当金や担保・保証によりカバーされている割合を表す保全率は、前年度末比1.8ポイント低下し83.7%となりましたが、引き続き十分な水準を確保しております。



## 1 2. 2020年度業績予想

単体の2020年度通期業績につきましては、当中間期の業績等を踏まえ当初予想を上方修正し、経常収益398億円、経常利益72億円、当期純利益45億円を予想しております。

(単位：億円)

	当初予想	修正予想	増減
経常収益	375	398	23
業務粗利益	288	295	7
資金利益	247	256	9
役務取引等利益	41	41	0
その他業務利益	△ 0	△ 2	△ 2
(うち国債等債券関係損益)	2	△ 4	△ 6
経費	240	235	△ 5
実質業務純益	47	59	12
実質与信関係費用	8	7	△ 1
経常利益	54	72	18
当期純利益	30	45	15

# 1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標 I 四銀スタイルの確立

- 当行の特長である「Just Like Family!な人財力」をベースに、お客さまに対して高度なコンサルティング機能を提供できる人財を開発・育成、「四銀スタイル」の確立につなげています。
- 従業員が健康で、やりがい・働きがいの持てる働き方の実現に向けて取り組んでいます。

## 人財開発・育成の強化

- 新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、オンラインを活用した研修を積極的に取り入れるなど、新しい研修スタイルに取り組んでいます。

### <研修・休日講座受講状況>

	受講者数 (4月～9月)	うちオンライン による受講者数	オンライン 活用率
研修	477人	224人	46.9%
休日開催講座 (自主参加型)	249人	196人	78.7%
合計	726人	420人	57.8%

当行の店舗網が広域に亘る中、受講者の半数以上がオンラインを活用して参加し、従来より受講者数が大幅に増加しました

※オンライン＝行内テレビ会議システム等



## 健康経営と新たな働き方の実現



- 女性の活躍推進に関する取組みが認められ、厚生労働省から「えるぼし」の認定を取得しました。

### <主な取組み>

- 性別に関係ない人物重視の採用活動
- 女性支店長の登用や本部企画部門等への積極的な配置



- 子育て支援に関する取組み等が認められ、厚生労働省から「くるみん」（2回目）の認定を取得しました。

### <主な取組み>

- 育児休職の取得（男女）
- 男性向け育児セミナー、育児休職者情報交換会の開催



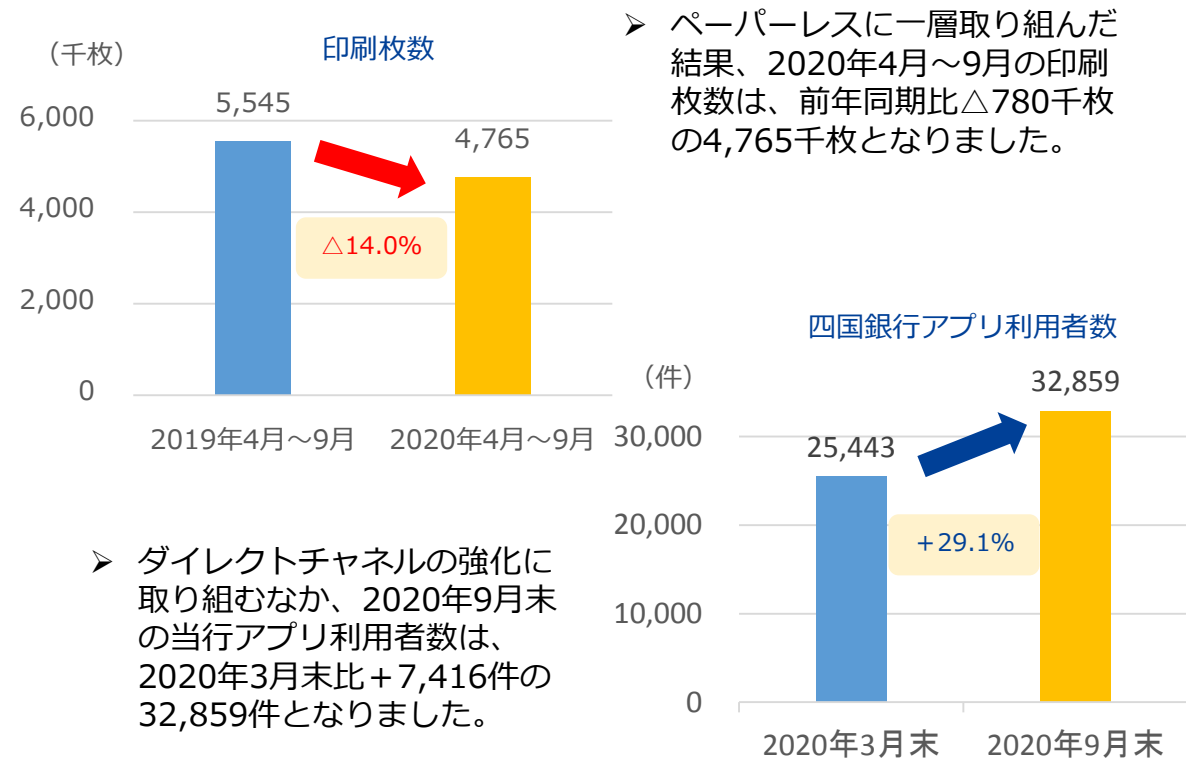
- 育児と仕事の両立支援に取り組む企業として、徳島県が実施する「とくしま子育て大賞」において「子育てサポート賞」を受賞しました。



# 1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標Ⅱ BPR・ICT戦略の加速

- 業務を徹底的に見直し、効率化することで、生産性向上を図るとともに、働きやすい環境の実現に向けて取り組んでいます。
- 様々なチャネルを通じて、お客さまの利便性向上や質の高いサービス提供に向けて取り組んでいます。

## BPR・ICTの取組み



## 店舗

- ▶ 質の高いサービスの提供と、店舗運営の効率化を図るため、3店舗を  
ブランチ・イン・ブランチ方式にて移転統合しました。

8月	南国南支店（高知県）を南国支店へ、および国府支店（徳島県）を徳島西支店へブランチ・イン・ブランチ方式で移転
9月	横浜ニュータウン出張所（高知県）を桂浜通支店へブランチ・イン・ブランチ方式で移転

- ▶ これからの店舗のあり方として、「The Bridge of Lifetime Finance（人生における金融の架け橋になる）」を目指し、7月に一宮支店（高知県）を次世代型店舗第1号店舗として新築移転しました。



※BPR（Business Process Re-engineering）：現状の業務プロセスを改善し、業務効率を向上させることで、生産性向上を図る。  
 ※ICT（Information and Communication Technology）：情報通信（伝達）技術。

# 1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標Ⅲ 3つのコンサルティング機能の発揮

- ビジネス・個人・地域の3つのコンサルティング機能を発揮し、お客さまの夢や課題解決の“実現”、ゆたかで便利なくらしの“実現”、活力にあふれた地域の“実現”という、「3つの実現」に向けて取り組んでいます。

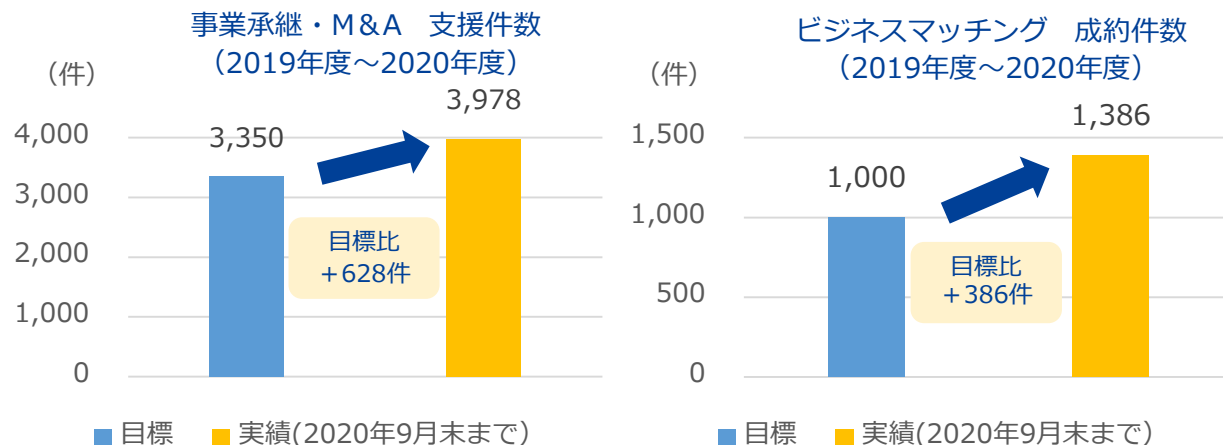
## ビジネスコンサルティング・個人コンサルティング・地域コンサルティング

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大により、事業に影響を受けられたお客さまに対する資金繰りの支援にお応えしています。

<新型コロナウイルス関連対応状況（9月末まで）>

融資実行件数	融資実行金額
4,033件	1,032億円

- ▶ お客さまの経営課題や成長・発展に向け、事業承継・M&Aやビジネスマッチングに取り組み、2020年9月末で2年間の目標を達成しています。



- ▶ お客さまのライフステージに応じたコンサルティング活動を強化するため、8月に当行で2店舗目となる「ほけんプラザ」を南国支店（高知県）に開設しました。

- ▶ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている、高知県内の飲食店や観光施設を支援するため、クラウドファンディング「『あすかう』プロジェクト」の特別パートナーとして地域を応援する取り組みをサポートしました。

クラウドファンディング  
あしたの分も買う(こう)ちよくきね。  
～高知の体験型観光プロジェクト～



### 1 3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） 戦略目標Ⅳ 持続可能な財務基盤・経営基盤の確立

- 中間期の業績を踏まえ、通期業績予想は、当期純利益ベースで45億円に上方修正しております。
- コンサルティング機能の発揮を通じて、事業所融資先数や事業承継・M&A支援件数等は順調に推移しております。

#### 財務目標に関する進捗状況（単体ベース）

項目	2020年度通期目標	(ご参考)	
当期純利益	30億円以上	中間期	28億円
自己資本比率	8%台	中間期	8.78%
ROE（株主資本ベース）	2.5%以上	中間期	4.8%※1

※1 純利益は年換算で算出

#### コンサルティング機能の発揮に関する進捗状況

項目	2020年度までの目標		2020年度9月末実績
事業所融資先数	2020年度末	11,500先以上	11,767先
事業承継・M&A支援件数	2019年度～2020年度	3,350件以上	3,978件
ビジネスマッチング成約件数	2019年度～2020年度	1,000件以上	1,386件
投資性商品契約者比率※2	2020年度末	3.5%以上	2.72%
預り資産残高（投信+保険）	2020年度末	2,550億円以上	2,349億円

※2 投資性商品契約者比率 = 20～50歳の投信または保険契約者数 ÷ 同年代の個人預金取引先数

## 1.3. 中期経営計画の進捗状況（4月～9月） SDGsの取組み

国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の趣旨に賛同し、自らの企業活動を通じて持続可能な地域社会の実現に貢献するため、4月1日に「四国銀行 SDGs宣言」を策定し、公表しました。

当行は、SDGsの達成に向け、地域の課題や環境問題の解決に積極的に取り組むことにより、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

### ＜四国銀行 SDGs宣言＞

四国銀行は、経営理念に基づき、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、地域の課題や環境問題の解決に積極的に取り組むことにより、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

#### 1. 地域経済・地域社会への貢献

地域の金融ニーズに応え、社会の発展に貢献するため、金融仲介機能を十分に発揮するとともに、お客さまや地域の課題解決に向けた取組みを通じて、地域経済・地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。



#### 2. ゆたかで便利なくらしの実現

すべての人々が、ゆたかで便利なくらしを送ることができるよう、金融リテラシーの普及・向上に努め、将来に向けた安定的な資産形成支援や、利便性の高い金融サービスを提供してまいります。



#### 3. 多様性の確保

多様な人材がやりがい・働きがいを感じ、その個性と能力を十分に発揮し活躍できる職場環境を整備してまいります。



#### 4. 環境への配慮

自然豊かな四国を基盤とする地域金融機関として、省エネルギー・省資源など環境負荷の低減に努めるとともに、本業を通じてお客さまの環境保全に向けた事業・取組みを支援してまいります。

